

年 間 授 業 計 画 (令和7年度)

東京都立桐ヶ丘高校

教科	国語	科目	現代の国語	区分	必修	単位数	2
担当							
教科書副教材 新編 現代の国語（東京書籍）／新版チャレンジ常用漢字（第一学習社）／ビジュアルカラー国語便覧（大修館書店）							
学習目標	①自己理解を深め、他者に関心を持ち、互いに伝え合う力（理解力、表現力）を高める。 ②多様な現代文表現に触れ、読解力、語彙力、社会常識、メディアリテラシーなどの知識・技能を高める。 ③文章から読み取った内容を自分に照らし合わせて生き方や社会の在り方を考え、それを次なる学びの意欲につなげる。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観 知 思 態			評価の観点（評価規準）	
1	オリエンテーション	学習方法、年間計画、評価など					
2	自己を見つめる	「こそそめスープ」村田沙耶香	○		○	文章中の漢字や語句の意味を理解し、文章の概要を理解することができる。	
3	自己を見つめる	「こそそめスープ」村田沙耶香		○		自身の意識が他人からは「異世界」であることを自覚し、他者の「異世界」の存在を理解できる。	
4	自己を見つめる	「ルリボシカミキリの青」福岡伸一	○		○	文章中の漢字や語句の意味を理解し、文章の概要を理解することができる。	
5	自己を見つめる	「ルリボシカミキリの青」福岡伸一		○		他者の体験を自身の体験と照らし合わせて、自身なりの意見・感想を述べることができる。	
6	前期中間考査		○	○		既習事項が定着している。	
7	他者に出会う	「未来をつくる想像力」石田英敬			○	文章中の漢字や語句の意味を理解し、文章の概要を理解することができる。	
8	他者に出会う	「未来をつくる想像力」石田英敬	○			筆者の意見と根拠となる部分、両者の関係性等を的確に理解し、文章の論理展開を把握できる。	
9	他者に出会う	「未来をつくる想像力」石田英敬		○		自分なりのメディアとの付き合い方を考えてまとめることができる。	
10	他者に出会う	「水の東西」山崎正和			○	文章中の漢字や語句の意味を理解し、文章の概要を理解することができる。	
11	他者に出会う	「水の東西」山崎正和	○			筆者の意見と根拠となる部分、両者の関係性等を的確に理解し、文章の論理展開を把握できる。	
12	他者に出会う	「水の東西」山崎正和		○		東西文化の比較を行い、日本や他の文化における特徴を理解することができる。	
13	他者に出会う	集めた情報の内容を検討して意見文を書こう		○	○	情報を集めて検討し、構成を工夫して意見を述べることができる。	
14	前期期末考査		○	○		既習事項が定着している。	
15	視野を広げる	「無彩色の色」港千尋			○	文章中の漢字や語句の意味を理解し、文章の概要を理解することができる。	
16	視野を広げる	「無彩色の色」港千尋	○			筆者の意見と根拠となる部分、両者の関係性等を的確に理解し、文章の論理展開を把握できる。	
17	視野を広げる	「無彩色の色」港千尋		○		色が持つ意味や効果に着目し、日常生活の中にあるものに対して考察を加えることができる。	
18	社会と関わる	「鍋洗いの日々」村上信夫			○	文章中の漢字や語句の意味を理解し、文章の概要を理解することができる。	
19	社会と関わる	「鍋洗いの日々」村上信夫	○			筆者の体験を想像し、筆者の意見や心情を理解することができる。	
20	社会と関わる	「鍋洗いの日々」村上信夫		○		興味のある職業について情報を収集し、苦労ややりがい等についてまとめることができる。	
21	社会と関わる	「森で染める人」鈴木菜々子			○	文章中の漢字や語句の意味を理解し、文章の概要を理解することができる。	
22	社会と関わる	「森で染める人」鈴木菜々子	○			筆者の体験を想像し、筆者の意見や心情を理解することができる。	
23	社会と関わる	「森で染める人」鈴木菜々子		○		自然や社会の中で生きる意味を考え、自身の職業観や生きる意味を考えることができる。	
24	後期中間考査		○	○		既習事項が定着している。	
25	手紙・メールの書き方	手紙・メールの書き方	○		○	一般的な手紙の形式を理解し、適切な手紙を作成することができる。	
26	手紙・メールの書き方	手紙・メールの書き方	○		○	一般的な手紙の形式を理解し、適切な手紙を作成することができる。	
27	世界とつながる	「美しさの発見」高階秀爾			○	文章中の漢字や語句の意味を理解し、文章の概要を理解することができる。	
28	世界とつながる	「美しさの発見」高階秀爾	○			抽象的な題材における筆者の主張と具体例の関係性等を的確に理解することができる。	
29	世界とつながる	「美しさの発見」高階秀爾		○		心の世界の広がりを感じたことがあるかを顧みて、その体験をまとめることができる。	
30	未来に目を向ける	「不思議な拍手」細馬宏通	○	○		文章中の漢字や語句の意味を理解し、文章の概要を理解することができる。	
31	未来に目を向ける	「不思議な拍手」細馬宏通		○	○	推論の展開を理解しつつ、他者の認識を理解することができる。	
32	未来に目を向ける	「真の自立とは」鷺田清一			○	文章中の漢字や語句の意味を理解し、文章の概要を理解することができる。	
33	未来に目を向ける	「真の自立とは」鷺田清一	○			筆者の意見と根拠となる部分、両者の関係性等を的確に理解し、文章の論理展開を把握できる。	
34	未来に目を向ける	「真の自立とは」鷺田清一		○		筆者の「自立」を参考に自分なりの「自立」とその具体的な方法を考えることができる。	
35	年度末考査		○	○		既習事項が定着している。	
評価方法	(知識・技能) ペーパーテスト(思考・判断・表現) ワークシート・レポート (主体的に学習に取り組む態度) 振り返りシート・ワークシート ※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考				合計時間数	2	単位×35週	70 時間

年 間 授 業 計 画 （令和7年度）

東京都立桐ヶ丘高校

教科	国語	科目	言語文化	区分	必修修	単位数	2	
担当								
教科書副教材		新編 言語文化（大修館書店）／ ビジュアルカラー国語便覧 改訂版（大修館書店）						
学習目標	（知）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。							
	（思）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。							
	（態）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。							
週	学 習 単 元		学 習 内 容		評価の観点 知 思 態		評価の観点（評価規準）	
1	現代文編 1. ことばと出会う 「言葉の森を育てよう」 ドリアン助川		・言葉についての筆者の考えを読み取り、言葉が果たしている役割を理解する。 ・日常使っている言葉を見つめ直す。		○		言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。	
2						○	○	内容や構成、展開などについての確にとらえ、日常使っている言葉を見つめ直そうとしている。
3						○	自分が育てたい言葉を探し、どのような育て方をしたいか考えようとしている。	
4	古文編 1. 古文に親しむ 「古文への招待／古文冒頭選」		・古典の言葉と現代の言葉のつながりを理解し、受け継がれてきた古文の響きやリズムを味わう。			○	古典の世界に親しむために、文語や訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	
5						○	古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。	
6	前期中間考査		学習事項の定着を把握する。		○	○	既習事項が定着している。	
7	現代文編 2. 表現を味わう 「とんかつ」 三浦哲郎		・登場人物の描写から人物像をとらえ、場面ごとの心情を読み取る。 ・語り手の役割や場面の展開に着目し、作品の構造を理解する。		○		文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	
8						○	「読むこと」において、文章の構成や展開、表現のしかた、表現の特色について評価している。	
9						○	登場人物の人物像や心情を読み取ることに興味を持ち、作品の構造を理解しようとしている。	
10	詩歌の調べ 「春のうた／夏のうた／ 秋のうた／冬のうた」		・それぞれの作品に描かれている情景や心情を読み取る。 ・詩歌の形式や表現の特徴について理解を深める。		○		古典の世界に親しむために、文語や訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	
11						○	「書くこと」において、自身の思いが効果的に伝わるように、文体や語句などの表現を工夫している。	
12						○	四季の詩歌を読むことに興味をもち、情景や心情を味わおうとしている。	
13						○	四季の詩歌を読むことに興味をもち、情景や心情を味わおうとしている。	
14	前期期末考査		学習事項の定着を把握する。		○	○	既習事項が定着している。	
15	古文編 1. 古文に親しむ 「兄のそら寝」		・繰り返し音読し、古文の読みに慣れる。 ・兄と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取る。		○		古典の世界に親しむために、文語や訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	
16						○	「読むこと」において作品に表れているものの見方や感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。	
17						○	古文に興味をもち、積極的に読みに慣れ、登場人物の行動や心情を読み取ろうとしている。	
18	現代文編 4. 物語を受け継ぐ 「羅生門」 芥川龍之介		・小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取る。 ・元になった古典作品との比較を踏まえて、内容の解釈を深める。		○		・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。	
19								
20						○	・「読むこと」において、成立した背景や他の作品との関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・異なる時代に成立した作品と読み比べ、比較して論じるなど、内容の解釈を深めている。	
21								
22						○	・作品に興味をもち、小説の構成や登場人物の心情の変化をとらえようとしている。 ・元になった古典作品との比較に興味をもっている。	
23								
24	後期中間考査		学習事項の定着を把握する。		○	○	既習事項が定着している。	
25	絵本の読み聞かせ・お礼状の作成		「外部講師による絵本の読み聞かせ」を受けて、お礼状を書き、手紙の書き方を習得する。			○	語り手の声色などに表れているものの見方や感じ方をとらえ、絵本がもつ魅力を積極的に味わう。	
26					○	○	読み聞かせの内容を踏まえた上で、手紙の書き方に基づいて、お礼状を作成できている。	
27	漢文編 1. 漢文に親しむ 「訓読のきまり」		・漢文の訓読のきまりについて理解する。 ・漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。		○		漢文の世界に親しむために、漢文を読むために必要な返り点や送り仮名について理解している。	
28						○	○	漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組んでいる。
29	漢文編 2. 現代に生きることば 「借虎威」		・「虎の威を借る狐」という言葉の意味について、考えを深める。 ・この話で語られている教訓の意義を理解する。		○		古典の世界に親しむために、文語や訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	
30						○	「読むこと」において作品に表れているものの見方や感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。	
31						○	漢文に興味をもち、漢文の学習に意欲的に取り組み、故事成語の理解を深めようとしている。	
32	古文編 3. 物語の広がり 「伊勢物語 芥川」		・登場人物の行動や場面の展開を正確に把握する。 ・和歌に表れた心情を読み取り、本文の中で和歌が果たしている役割を考える。		○		古典の世界に親しむために、文語や訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。	
33						○	「読むこと」において作品に表れているものの見方や感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。	
34						○	作品に興味をもち、登場人物の行動や場面の展開、和歌に表れた心情を読み取ろうとしている。	
35	年度末考査		学習事項の定着を把握する。		○	○	既習事項が定着している。	
評価方法	（知識・技能）小テスト・定期考査・ワークシート（思考・判断・表現）小テスト・定期考査・ワークシート・振り返りシート （主体的に学習に取り組む態度）振り返りシート・ワークシート							
	※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。							
備考				合計時間数	2	単位×3 5週	70 時間	

年 間 授 業 計 画 （令和7年度）

東京都立桐ヶ丘高校

教科	社会科	科目	地理総合	区分	必修	単位数	2
担当							
教科書副教材	教科書…①高等学校 新地理総合（帝国書院） ②標準高等地図（帝国書院）						
学習目標	現代社会の地理的な諸課題を地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて考察する。 現代世界の地理的認識を養う。 地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観 知 思 態		評価の観点（評価規準）		
1	地球上の位置と私たちの生活	緯度の違いは、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。	○	○	緯度・経度の基本的なしくみ、緯度の違いが生活に与える影響について理解している。		
2	時差と私たちの生活	時刻の違い(時差)は、私たちの生活にどのような影響を与えているのだろうか。		○	時差のしくみ、時差が生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
3	地球儀と地図	なぜ地図にはさまざまな図法があるのだろうか。		○	球体の地球と平面の地図、さまざまな地図投影法（図法）について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
4	身の回りの地図	主題図と一般図には、それぞれどのような表現方法や用途があるのだろうか。		○	身の回りの主題図やさまざまな一般図の表現方法や用途について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
5	統計地図の種類と利用	統計地図にはどのような種類があり、どのように使い分けられているのだろうか。		○	統計地図の種類、統計地図の比較と使い分けについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		
6	地理情報システム（GIS）の利用	地理情報システム（GIS）は、どのように活用されているのだろうか。		○	地理情報システム（GIS）のしくみやこれを支える技術、GISの活用場面について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
7	前期中間考査						
8	現代世界の国家	国家の領域や国境にはどのような決まりがあるのだろうか。	○	○	国境の種類、国家の領域、国家の主権について理解している。		
9	日本の位置や領域	日本の位置や領域、排他的経済水域にはどのような特徴があるのだろうか。		○	日本の位置と領域、排他的経済水域の特徴、日本の領土をめぐる問題について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
10	国家間の結び付き	世界の国々の結び付きは、時代とともにどのように変化してきたのだろうか。		○	国際関係と紛争の変化、国連が果たす役割、経済のグローバル化と地域ごとの経済的な結び付きについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		
11	貿易によって結び付く世界	世界の国々で行われている貿易には、どのような特徴や課題があるのだろうか。		○	暮らしを支える貿易、貿易の変化と国際分業の成立、自由化する世界の貿易について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
12	さまざまな交通網の発達	私たちの生活を支える交通網は、どのように発達してきたのだろうか。		○	世界を結ぶ航空交通の発達、貿易を支える海上交通の発達、陸上交通の発達と変化について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
13	前期末考査						
14	世界を結ぶ通信網の発達	通信網の発達により、私たちの生活はどのように変化しているのだろうか。	○	○	通信技術の発達と一体化する世界、情報通信技術の発達で変化する生活行動、情報通信技術が生み出す格差について理解している。		
15	観光のグローバル化	グローバル化によって、観光はどのように変化したのだろうか。	○	○	観光のグローバル化、多様化する観光のスタイルについて理解している。		
16	大地形と人々の生活	地形は、人々の生活とどのように関わり合っているのだろうか。	○	○	生活の舞台となる陸地、地形をつくる営力、大地形を構成する変動帯と安定地域について理解している。		
17	河川がつくる地形と人々の生活	川がつくる地形は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。		○	河川がつくる地形と生活の関わり、上・中流域の地形と生活への影響、下流域の地形と生活への影響について理解している。		
18	海岸の地形と人々の生活	海岸がつくる地形には、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。		○	海の恵みを生かした産業、海岸の地形と生活の関わりについて理解している。		
19	気温・降水と人々の生活	気温や降水は人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	○	○	気候が生活に与える影響、気温のしくみと分布の特徴、降水のしくみと分布の特徴について理解している。		
20	世界の言語と人々の生活文化	言語は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。		○	言語と民族の関わり、公用語と人々の生活への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
21	世界の宗教と人々の生活文化	宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。		○	宗教の食生活への影響、宗教と生活の関わりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		
22	イスラームを中心とした生活文化	イスラームは、人々の生活にどのような影響を与えているのだろうか。	○	○	ムスリムの生活、三つの言語集団と生活習慣の地域差について理解している。		
23	後期中間考査						
24	インドの歩みとヒンドゥー教	ヒンドゥー教は、人々の職業や社会進出にどのような影響を与えているのだろうか。		○	南アジアの民族と歩み、ヒンドゥー教と人々の生活への影響、多様な言語について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
25	歴史的背景が人々の生活に与える影響	さまざまな歴史的背景は、人々の生活にどのような影響を与えてきたのだろうか。		○	生活文化に影響した歴史的背景、冷戦時代の体制が生活に与える影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
26	ヨーロッパ社会の影響が強い文化	さまざまな民族の流入は、人々の生活文化にどのような影響を与えているのだろうか。		○	ラテンアメリカの成り立ちとラテン文化の形成、地域で異なる民族構成について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
27	生活文化に残る旧宗主国の影響	植民地支配の歴史は、人々の生活文化にどのような影響を与えているのだろうか。		○	西アフリカにみる旧宗主国の影響、植民地支配の歴史と人々の生活文化への影響について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
28	植民地支配の影響が残るアフリカの産業	植民地支配の歴史は、現在のアフリカの産業にどのような影響を与えているのだろうか。		○	商品作物にみる植民地支配の歴史の影響、一次産品への依存が強い産業について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
29	国家体制の変化が人々の生活に与えた影響	国家体制が激変したロシアでは、人々の生活にどのような変化が生じたのだろうか。		○	国家体制の転換と人々の生活の変化、ロシアの文化と多様な民族について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
30	世界に大きな影響力をもつ知識産業と資源	アメリカ合衆国の知識産業や鉱工業は、世界にどのような影響を与えているのだろうか。	○	○	世界標準を生み出すICT産業、産業構造の変化とサンベルトの台頭、シエール革命が世界に与えた影響について理解している。		
31	経済成長による中国の生活の変化	経済成長によって、中国の人々の生活はどのように変化したのだろうか。	○	○	経済成長と生活の変化、経済格差と人口の移動、深刻な環境問題について理解している。		
32	EU統合と人々の生活	ヨーロッパの国々が、国境を越えた結び付きを強めているのはなぜだろうか。	○	○	国境を自由に移動できる生活、キリスト教に根ざした文化、EU統合への歩みとその背景について理解している。		
33	多様な地球環境問題	地球環境問題にはどのような種類があり、どのような原因で発生するのだろうか。		○	地球環境問題の種類、地球環境問題の背景について、多面的・多角的に考察し、表現している。		
34	エネルギー利用の現状と課題	エネルギーの利用にはどのような課題があり、どのように解決したらよいのだろうか。		○	エネルギーの生産と消費の不均衡、エネルギー問題の解決に向けての取り組みについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		
35	年度末考査						
評価方法	（知識・技能）ペーパーテスト（思考・判断・表現）ワークシート・レポート （主体的に学習に取り組む態度）振り返りシート・ワークシート ※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考			合計時間数	2	単位×35週	70 時間	

年 間 授 業 計 画 (令和7年度)

東京都立桐ヶ丘高校

教科	地理歴史科	科目	歴史総合	区分	必修	単位数	2
担当							
教科書副教材 教科書…歴史総合 近代から現代へ（山川出版社） 副教材…なし							
学習目標	(知) 近現代の歴史の変化について、広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。						
	(思) 近現代の歴史の変化について、多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力を養う。						
	(態) 近現代の歴史の変化について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養う。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観			評価の観点（評価規準）	
			知	思	態		
1	オリエンテーション	諸地域世界の形成	○			諸地域世界について、地図などを活用してその形成と特徴を理解している。	
2	近代化への問い	歴史に問いを立て、よりよい社会を築くための課題を主体的に追究する。		○	○	現在に生きる自身の視点から歴史に問を立て、主体的に追究しようとしている。	
3	19世紀のヨーロッパ	産業革命後に起こったヨーロッパにおける変化を理解する。	○			ヨーロッパの対外政策を各国の状況とあわせて理解している。	
4	19世紀のアメリカ大陸	アメリカ合衆国の発展の経過から、今日のアメリカ合衆国における人種問題について考える。		○	○	今日のアメリカ合衆国における問題と南北戦争が結びつく構造を見出そうとしている。	
5	西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化	ヨーロッパのアジア進出の様子を読み取り、今日のあり方と植民地化の歴史について追究する。	○		○	東南アジアにおける今日のあり方と植民地化の歴史について理解し、追究しようとしている。	
6	中国の開港と日本の開国	中国や日本が欧米列強と結んだ不平等条約の内容とその結果について理解する。	○	○		中国・日本が欧米列強と結んだ不平等条約の内容とその結果について理解し、まとめている。	
7	前期中間考査	前期中間考査	○				
8	明治維新	「国民」の誕生の課程と日本が導入した欧米からの新技術について具体的に考察する。		○		明治新政府が導入した制度や技術についてまとめ、これまでの時代と比較して考察している。	
9	条約改正と日清戦争	条約改正が東アジアの国際関係に与えた影響を理解し、日清戦争の原因・過程・結果を考察する。		○	○	明治政府の条約改正の展開と国際関係について多面的・多角的に考察している。	
10	帝国主義と列強の展開	帝国主義と世界の一体化の進展について、過程・結果、現代にいたる影響について追究する。			○	世界の一体化について、過程・結果、現代にいたる影響について追究しようとしている。	
11	日露戦争とその影響	日露戦争がおきた背景・過程・結果をまとめ、日本国内周辺地域に与えた影響を多面的に追究する。			○	列強が二極分化していく動向を、各国の思惑もふまえて比較しながら考察している。	
12	第一次世界大戦とロシア革命	バルカン諸国の対立と第一次世界大戦を関連付けて理解する。	○			第一次世界大戦の背景にあるヨーロッパの地理的・民族的・宗教的な複雑を理解している。	
13	前期期末考査	前期期末考査	○				
14	国際平和と安全保障	ヴェルサイユ体制とワシントン体制による国際秩序のあり方を理解し、その成果と課題を追究する。	○		○	第一次世界対戦後の国際秩序のあり方を理解し、その成果と限界を追究しようとしている。	
15	大衆消費社会と市民生活の変容	図や写真、表などを使いながら、大衆消費社会や中間層の出現など、社会の変化を表現する。			○	図や写真、表などを使いながら、中間層の出現や都市化による変化を表現している。	
16	社会・労働運動の進展と大衆の政治参加	労働運動や社会運動が活発化する背景と展開を国際社会の状況と比較しながら検討する。			○	第一次大戦後の労働運動や社会運動について、国際社会の状況と比較して検討しようとしている。	
17	世界恐慌の発生と各国の対応	恐慌が世界に波及した要因を追究し、その後の世界にあたえた影響を理解する。	○			世界恐慌の発生の原因・過程・結果について、国ごとの状況を比較して理解している。	
18	ファシズムの台頭	ファシズム体制の特徴を理解し、ファシズムと反ファシズムの共通点と相違点を考察する。	○		○	ファシズムはどのようにして台頭し、どのような政策を展開していくか理解している。	
19	日本の恐慌と満洲事変	満洲事変がおこった背景と、その後の政治の推移を考察する。		○		満洲事変とその後の日本の国際社会における立場を関連付けて考察している。	
20	日中戦争と国内外の動き	日中戦争が国内外に与えた影響を理解する。	○			日中戦争が日中両国や国際社会にどのような影響をもたらしたのか、多面的・多角的に理解する。	
21	第二次世界大戦と太平洋戦争	第二次世界大戦に至る過程を理解し、戦時下での国民の生活について考察する。	○	○		第二次世界大戦の政治的・外交的な側面と人びとの生活への影響を理解している。	
22	新たな国際秩序と冷戦の始まり	新たな国際秩序を構築したか、戦後の占領分割について、連合国側とソ連のそれぞれの方法を考察する。			○	2度の世界大戦の後、国際社会は平和と安定をどのように構築しようとしているか考察している。	
23	後期中間考査	後期中間考査	○				
24	占領下の日本と占領政策の転換	日本の民主化政策とその転換について、国際情勢を踏まえて理解する。	○			日本の占領政策と転換について、その理由を考察し、どのように進めたかを理解している。	
25	集団防衛体制	敗戦国が復帰した「国際社会」はどのように構築されていったのかを考察する。		○		地図を活用し、西側陣営・東側陣営が構築した防衛体制とその様相を表現している。	
26	第三世界の連携と試練	国際社会で「第三世界」が形成された背景と、当該地域の現在における課題を追究する。			○	今日の中東やアフリカの国々における課題について歴史的な視点から追究しようとしている。	
27	55年体制の成立	55年体制が成立した背景を理解し、その後の政治の推移と国際社会との関わりについて考察する。		○		二大政党の対立の実態をまとめ、この時期の外交的な成果と課題について考察している。	
28	冷戦構造のゆらぎ	1東西の緊張緩和の経過を理解し、その背景となった米ソの威信低下や、米中接近の理由について考察する。	○	○		1970年代の米ソの威信低下、米中接近について理解し、考察している。	
29	世界経済の転換	経済成長を重視する価値観からの変容とその要因について考え、現代に続く課題を追究する。		○	○	経済成長を重視する価値観の変容と新自由主義が西側諸国で目指された理由を考察している。	
30	冷戦の終結と国際情勢	冷戦が終結し、東欧革命が発生した経過と、新体制がめざす国家のあり方について理解する。	○			東欧革命による各国での新体制を比較し、新思考外交と冷戦の終結について理解している。	
31	開発途上国の民主化と独裁政権の動揺	民主化や経済活動が活発になる面と民主化運動の弾圧や少数民族への統制などの面について考察する。		○		アジアやラテンアメリカ諸国、南アフリカで起こった政治的・経済的変革を考察している。	
32	地域紛争の激化	対テロ戦争と呼ばれる新しい戦争が始まる経緯を理解し、その結果生じた難民問題について考察する。		○		地域紛争やテロ、難民等の問題について、原因・過程を理解し、対応策を考察している。	
33	国際社会のなかの日本	現在にいたる日本経済低迷の経緯と21世紀に入ってからからの日本の政治・外交における変化を考察する。			○	日本の国際貢献のあり方の変化に、経済面などを関連させて考察している。	
34	現代的な諸課題の形成と展望	歴史的な見方や考え方を生かして、現代的な諸課題を考察する姿勢を身に付ける。			○	みずから問いを立て、分析の方法や視点を設定し、その答えを追究しようとしている。	
35	年度末考査	年度末考査	○				
評価方法	(知識・技能) ペーパーテスト (思考・判断・表現) ワークシート・レポート (主体的に学習に取り組む態度) 振り返りシート・ワークシート ※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考				合計時間数	2	単位×35週	70 時間

年 間 授 業 計 画 （令和7年度）

東京都立桐ヶ丘高校

教科	公共	科目	公共	区分	必修修	単位数	2
担当							
	教科書 数研出版 公共 補助教材なし						
学習目標	現代の諸課題を考察し選択判断するための手がかりとなる概念や理論について理解するとともに倫理的主体として活動するために必要となる情報をまとめる技能を身に付けるようにする。 社会の諸課題の解決に向け事実を多面的多角的に考察し公正に判断する力を社会参画を視野に入れながら構想したことをまとめる力を養う。 よりよい社会の実現のため諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。社会の中で協力しあうことの大切さについて自覚を深める。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観点 知 思 態			評価の観点（評価規準）	
1	公共的な空間を作る私たち	大人ってどんな人？	○	○	◎	自らを成長させる人間としての在り方生き方はどのようなものかを主体的に考えている。	
2	公共的な空間を作る私たち	お互いを理解し尊重するために	◎	○		古代から近代の日本の思想家の思想内容が理解できているか。	
3	公共的な空間を作る私たち	誰もが生きやすい社会へ		◎	○	自分と異なる価値観に基づく主張を聞いたり他者の想いを受け入れたりとすることができる。	
4	公共的な空間における人間としての在り方生き方	西洋近現代の思想		◎	○	先哲の思想や生き方を検証し自己の生き方を検証する。	
5	公共的な空間における人間としての在り方生き方	西洋近現代の思想		○	◎	選択・判断の手がかりとなる考え方をを使って現代の諸課題を主体的に追及できる。	
6	公共的な空間における人間としての在り方生き方	現代の諸課題の倫理	◎	○		地球環境問題、エネルギー問題等事象について理解できている。	
7	公共的な空間における人間としての在り方生き方	現代の諸課題の倫理		◎	○	社会緒での自己の生き方あり方を考察するための選択・判断の手がかりを考察できる。	
8	公共的な空間における基本原理	民主社会の基本原理		○	◎	民主政治が自ら関わっていることを理解し民主社会に主体的に生きる人間について考察を深める。	
9	公共的な空間における基本原理	民主社会の基本原理	○	◎		個人と社会の関わりを多面的多角的に考察することができる。	
10	公共的な空間における基本原理	日本社会の基本原理	◎			日本国憲法の基本原理や保障されている権利が理解できている。	
11	公共的な空間における基本原理	日本社会の基本原理		◎	○	日本国憲法の基礎にある考え方に着目し現在の社会における基本原理との関連を考察することできる。	
12	ルールをつくり守る私たち	法と契約	◎			法や規範の意義や役割が理解できている。	
13	ルールをつくり守る私たち	法と契約 司法参加の意義		◎	○	買い物や銀行のクレジットカードなど身近な契約の例を挙げることができる。	
14	ルールをつくり守る私たち	司法参加の意義	○		◎	模擬裁判などを通して司法に関心をもち裁判員制度の意義を踏まえ積極的に参画する自覚を持つことができ	
15	政治に参加する私たち	政治参加と民主政治の課題	◎		○	地方自治や選挙の仕組み、政党の役割を理解することにより民主政治を支える制度を理解する。	
16	政治に参加する私たち	政治参加と民主政治の課題			◎	模擬投票などを通して主権者としての自覚をもつことができる。	
17	政治に参加する私たち	国際政治の動向	○	◎		集団安全保障ができた経過を理解する。	
18	政治に参加する私たち	国際政治の動向 国際政治の課題と日本の役割	○		◎	NGOなどを知ることにより国際化を身近に感じ国際社会の諸問題について主体的に追及できる。	
19	政治に参加する私たち	国際政治の課題と日本の役割		◎	○	国際問題について自分なりの意見をもち他者に説明できている。	
20	政治に参加する私たち	国際政治の課題と日本の役割	◎		○	核軍備拡大から核軍縮への流れが理解できている。	
21	経済活動を行う私たち	経済の仕組みと産業の変化	◎	○		企業の果たしている役割が理解できている。	
22	経済活動を行う私たち	経済の仕組みと産業の変化		◎	○	現代の企業倫理について考察できている。」	
23	経済活動を行う私たち	経済の仕組みと産業の変化		◎	○	経済のサービス化が進展し国民生活にどのような変化をもたらしたか考察できる。	
24	経済活動を行う私たち	経済の仕組みと産業の変化	○		◎	今後の日本経済について見通しをたてることできる。	
25	経済活動を行う私たち	市場経済の仕組みと金融	◎		○	金融の仕組みについて理解し経済状況について手段の提示ができる。	
26	経済活動を行う私たち	市場経済の仕組みと金融	○	◎		経済のサービス化が進展し国民生活にどのような変化をもたらしたか考察できる。	
27	経済活動を行う私たち	財政と社会保障	◎	○		社会保障について理解できる。	
28	経済活動を行う私たち	財政と社会保障 国際経済の動向と課題		○	◎	格差社会の中でどのようなことができるか考え実行することを考える。	
29	経済活動を行う私たち	国際経済の動向と課題		○	◎	日常生活が国際経済と密接であることを理解できる。	
30	経済活動を行う私たち	国際経済の動向と課題		◎	○	経済のグローバル化と相互依存が深まっていることを理解する。	
31	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	課題探求の観点	◎	○		現代社会に生きる私たちの課題を指摘できる。	
32	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	課題探求の観点	◎		○	現代社会の諸問題の所在現状問題点が理解できている。	
33	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	課題探求の観点	○		◎	様々な課題の中で自己との関わりに注目して主体的に課題を選択し探求できる。	
34	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	課題探求の観点 課題探求の手引き		◎	○	現代社会の問題を考察しレポートを作成し表現する。	
35	持続可能な社会づくりの主体となる私たち	課題探求の手引き	○		◎	現代社会の特質から生じる価値の対立について探求できている。	
評価方法	（知識・技能）ペーパーテスト（思考・判断・表現）ワークシート・レポート （主体的に学習に取り組む態度）振り返りシート・ワークシート ※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考				合計時間数	2	単位×35週	70 時間

年 間 授 業 計 画（令和7年度）

東京都立桐ヶ丘高校

教科	数学	科目	数学Ⅰ	区分	必修	単位数	2
担当							
教科書副教材	新 高校の数学Ⅰ（数研出版） 、ポイントノート数学Ⅰ（数研出版）						
学習目標	(知)数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (思)数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。 (態)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観			評価の観点（評価規準）	
			知	思	態		
1	数と式（1）	計算の基本	○	○	○	正の数、負の数の加法、減法、乗法の計算ができる。 四則が記した計算の優先順位を正確に判断できる。 これからの学習の基礎となる数の計算方法に関心をもち、積極的に習得しようとする。	
2	数と式（2）	文字を使った式	○	○	○	文字を使った式で数量を表すことの必要性を理解している。 ある数量について、文字を使った式で表現することができる。	
3	数と式（3）	単項式と多項式	○			○単項式や多項式、次数、同類項など式に関する用語を理解している。○多項式の同類項をまとめ、次数の大きい順に整理することができる。	
4	数と式（4）	多項式の加法と減法	○			多項式の加法、減法の計算ができる。	
5	数と式（5）	多項式の乗法	○	○	○	指数法則を理解し、単項式の乗法の計算ができる。 式の展開と分配法則の関係を考察することができる。 多項式の乗法には、積の場合と同様に分配法則が使えないことに関心をもち、考察しようとする。	
6	数と式（6）	展開の公式	○	○		展開の公式を利用できる。 式の展開と分配法則の関係を考察することができる。	
7	前期中間考査	試験	○	○			
8	数と式（7）	因数分解	○	○	○	共通因数をみつけ、共通因数のくり出しができる。 因数分解の公式を利用できる。 たすき掛けの仕組みを理解している。 展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用しようとする態度がある。	
9	数と式（8）	展開、因数分解の工夫	○	○	○	文字のおきかえを利用して、展開や因数分解を行うことができる。 文字をおきかえることで、展開や因数分解の公式を適用できるようになることを見通せる。 おきかえなどの工夫によって、よりよい方法を考察しようとする。	
10	数と式（9）	根号を含む式の計算	○	○		平方根の意味を理解している。 根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。 根号を含む式の乗法の計算に、展開の公式を適用することができる。	
11	数と式（10）	実数	○	○	○	有理数と無理数の違い、および実数について理解している。 実数を数直線上の点の座標として考察することができる。 今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする。	
12	2次関数のグラフ	不等式	○	○	○	不等号の意味を理解している。 不等式の性質を基に、1次不等式を解く方法を考察することができる。 不等式の性質について、等式の性質と比較して、考察しようとする。	
13	2次関数のグラフ	関数	○	○	○	関数について理解している。 2つの数量の関係を関数の式で表現することができる。 日常の事象の中に関数を見つつけようとする。	
14	2次関数のグラフ	1次関数・2次関数のグラフ	○	○		座標について理解している。 関数を表、式、グラフによって考察することができる。 放物線の形や軸、頂点について理解している。 $y=a(x-p)^2+q$ のグラフについて、 x 軸方向、 y 軸方向の平行移動の組み合わせとみて考察することができる。	
15	2次関数の値の変化	2次関数の最大値・最小値	○	○	○	2次関数が最大値または最小値をもつことを理解している。 2次関数の値の変化をグラフから考察することができる。 2次関数の最大・最小の問題を、図をかりて直観的に考察しようとする。	
16	前期期末考査	試験	○	○			
17	2次関数の値の変化	2次方程式	○	○	○	因式分解を利用して2次方程式を解くことができる。 2次関数のグラフと x 軸の共有点の個数や位置関係を、2次方程式と関連させて考察することができる。 2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を付て、それを積極的に利用しようとする。	
18	2次関数の値の変化	グラフと2次方程式	○	○	○	2次関数のグラフを利用して、2次方程式を解くことができる。 2次方程式の解と2次関数の値の符号を相互に関連させて考察することができる。 2次方程式を解くときに、図を積極的に活用しようとする。	
19	図形と計量（3）	直角三角形	○			直角三角形において、三平方の定理を利用して、辺の長さを求めることができる。 三角定規の形の三角形について、辺の比を知っている。	
20	図形と計量（4）	三角比	○	○		三角比は、直角三角形の辺の比であることを理解している。 三角比が三角形の大きさに関係なく、鋭角のみに依存していることを、三角形の相似から考察することができる。	
21	図形と計量（5）	三角比の相互関係	○	○	○	三角比の相互関係を利用して、三角比の1つの値から残りの2つの値を求めることができる。 $\sin^2 \theta + \cos^2 \theta = 1$ を三平方の定理としてとらえることができる。 三角比の相互関係を調べようとする。	
22	図形と計量（6）	鈍角の三角比	○	○	○	鈍角の三角比の値を求めることができる。 拡張された三角比を、座標平面上に示して考察することができる。 鈍角の場合と異なり、鈍角の三角比が明確に利用して定義される理由に関心をもち、考察しようとする。	
23	図形と計量（7）	正弦定理	○	○	○	正弦定理における a ・ b ・ c の形の式を適切に処理することができる。 三角形の頂点から対辺に下ろした垂線の長さを、三角比を用いて表現し、正弦定理を導くことができる。 正弦定理の図形的な意味を考察しようとする。	
24	図形と計量（8）	余弦定理	○	○	○	余弦定理を利用して、三角形の辺の長さや角の大きさを求めることができる。 三角形の各辺を1辺とする正方形の面積を、三角比を用いて表現し、余弦定理を導くことができる。 余弦定理の図形的な意味を考察しようとする。	
25	後期中間考査	試験	○	○			
26	図形と計量（9）	三角形の面積	○		○	2辺の長さとその間の角の大きさが与えられた三角形の面積を求めることができる。 三角比と三角形の面積の関係に関心をもち、式を導こうとする。	
27	集合と命題	集合	○	○	○	集合を、要素を書き並べて表すことができる。 集合に関する記号を、適切に用いることができる。 集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。	
28	集合と命題	命題と集合	○	○	○	命題の意味を理解している。 命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。 条件を満たすものの集合の包含関係が、命題の真偽に関連していることに着目し、命題について調べようとする態度がある。	
29	集合と命題	必要条件と充分条件	○	○	○	十分性、必要性及び必要十分条件の意味を理解している。 命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。 条件を満たすものの集合の包含関係が、命題の真偽に関連していることに着目し、命題について調べようとする態度がある。	
30	データの分析	データの整理	○		○	データを度数分布表やヒストグラムに表すことよを理解している。 データを整理して全体の傾向を考察しようとする。	
31	データの分析	データの代表値	○	○	○	最頻値、中央値、平均値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 どの代表値を用いるのが適切なかが場面によって変わってくることを理解している。 データの代表値から、その特性や傾向などを考察しようとする。	
32	データの分析	データの散らばり	○	○	○	四分位数の定義を理解し、四分位数を求めることができる。 四分位範囲や箱ひげ図をもとに、中央値の周りのデータの散らばり具合を比較することができる。 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察しようとする。	
33	学年末考査	試験	○	○			
34	データの分析	データの相関と散布図・相関係数	○	○	○	散布図を作成することができる。 散布図をもとに、データの相関を考察することができる。 相関係数と散布図の関連に関心をもち、考察しようとする。	
35	データの分析	仮説検定の考え方	○	○	○	仮説検定の考え方を理解している。 仮説検定の考え方を活用して、ある事柄が正しいかどうかを判断することができる。 身近な事柄において、仮説検定の考え方を活用して判断しようとする態度がある。	
評価方法	(知識・技能) ペーパーテスト（思考・判断・表現）ワークシート・レポート (主体的に学習に取り組む態度) 振り返りシート・ワークシート ※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考				合計時間数	2	単位×35週	70 時間

年 間 授 業 計 画 （令和7年度）

東京都立桐ヶ丘高校

教科	理科	科目	科学と人間生活	区分	選択必修修	単位数	2
担当							
教科書副教材	科学と人間生活(東京書籍)						
学習目標	自然の事物・現象について、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 自然の事物・現象について、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観 知 思 態		評価の観点（評価規準）		
1	花の観察	採取 スケッチ	○		花を採取し、ルーペで観察したものをスケッチすることができる。		
2	顕微鏡の使い方	顕微鏡の使い方	○		顕微鏡の部位の名称とその使い方を理解し、顕微鏡をもちいて観察する技能を習得している。		
3	水中の微生物	プレパラートの作成		○	プレパラートを作成し、顕微鏡で観察したものをスケッチすることができる。		
4	単元テスト	実験の技能	○	○	実験の技能を習得している。		
5	ろ過、蛍光、紫外線	薬品の扱い方と光の波長について	○		薬品の扱い方を理解している。		
6	単元のまとめ		○	○	学習内容を理解している。理解が不十分な点について自ら振り返って理解を深めている。		
7	光合成色素	光合成色素の分離	○		光合成色素の分離実験の操作を身に付けている。		
8	光と波長	CD分光器をつくろう		○	分光器を製作し、観測結果を基に光源による光のスペクトルの違いを見出し、表現している。		
9	定性分析	物質の性質を理解し同定を行う		○	物質の性質による特定方法を理解し、定性分析の実験を行って、実験結果から考察し表現している。		
10	高分子化合物	スライムの製作	○		プラスチックなどの高分子化合物の構造について理解している。		
11	物質の三態	液体窒素の性質		○	実験を基に物質によって急激な温度変化の際の違いがあることを見出し、表現している。		
12	学習のまとめ		○	○	学習内容を理解している。理解が不十分な点について自ら振り返って理解を深めている。		
13		前期期末考査	○	○			
14	ペーパークラフト①		○		ペーパークラフトの作成を通して、基本的な実験技能を身に付けている。		
15	弦楽器について	ギターを作ろう	○		弦の振動により、音波を観測することができる。音の三要素について理解している。		
16	振動と楽器	ストロー・紙コップでつくる管楽器	○	○	気柱の振動により、音波を観測することができる。既習事項を基に深く考えようとしている。		
17	ペーパークラフト②		○		ペーパークラフトの作成を通して、基本的な実験技能を身に付けている。		
18	飛行原理	飛行機・回転運動・風	○		飛行原理について、飛行機やヘリコプター、風などがどのように揚力を得ているか理解している。		
19	いろいろな力	演示実験と考察	○	○	力の種類について理解し、演示実験の結果から考察し表現している。		
20	静止摩擦力、動摩擦力	ハブをつくろう・CDホバークラフト	○	○	摩擦力について理解し、計算できる。力についてより深く考えようとしている。		
21	単元テスト	実験の技能	○	○	実験の技能を習得している。		
22	学習のまとめ		○	○	学習内容を理解している。理解が不十分な点について自ら振り返って理解を深めている。		
23	防災について	調べ学習		○	防災のための取組みの重要性や自分たちにできることについて、個人で調べ、グループで対話しながら考えようとしている。		
24	再生可能エネルギー	調べ学習		○	再生可能エネルギーについて、個人で調べ、グループで対話しながら考えようとしている。		
25	映像学習	演示実験と考察		○	さまざまな演示実験を観て、考察し表現している。		
26	気体の密度と気象について	熱気球の製作	○		熱気球を製作し、気体の密度と温度の関係について理解している。		
27	天体の動き	天体観測・フーコーの振り子		○	天体観測やフーコーの振り子の観察結果から地球の動きについて考察し、仕組みを見出し、表現している。		
28	化石	化石のレプリカ製作		○	化石からその時代や環境について考察し、化石ができる仕組みについて見出し、表現している。		
29	物質の燃焼	キャンドルの製作		○	物質の燃焼という現象について、身近なロウソクを主として関心を持ち、どのような原理が見出そうとして集積回路について理解し、電気回路を作成することができる。		
30	集積回路・I Cについて	LEDフラッシャーの製作	○				
31	電力と熱	紙コップ電気パン	○	○	電流による熱の発生について調べた結果を基に、電気パンができる仕組みを考察し、表現している。		
32	コイルモーター	モーターの製作	○		電気エネルギーから運動エネルギーへとエネルギーが変換されることを理解している。		
33	種について	アルソミトラの種模型の製作	○		種模型を製作し、種の散布方法についてさまざまな種類・方法があることを理解している。		
34	学習のまとめ		○	○	学習内容を理解している。理解が不十分な点について自ら振り返って理解を深めている。		
35		年度末考査	○	○			
評価方法	(知識・技能) 観察、実験の様子・ペーパー・技能テスト(思考・判断・表現) ワークシート・レポート (主体的に学習に取り組む態度) 振り返りシート・ワークシート ※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考				合計時間数	2	単位×35週	70 時間

年 間 授 業 計 画 （令和7年度）

東京都立桐ヶ丘高校

教科	理科	科目	物理基礎	区分	選択必修修	単位数	2
担当							
教科書副教材 新編 物理基礎 東京書籍							
学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解する。						
	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。						
	物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観			評価の観点（評価規準）	
			知	思	態		
1	ガイダンス	〔物理基礎〕についての学習内容と学習方法 物理量の測定と扱い方。	○			身近な物理現象について、物理量の測定と表し方、分析の手法を理解している。	
2	直線運動の世界	運動の表し方	○			物体の運動の表し方について、直線運動を中心に理解している。	
3		変位と速度	○			変位と速度の概念を理解している。	
4		等速直線運動		○		観察、実験を通して速度、変位、時間の規則性を見出し表現できる。	
5		合成速度と相対速度		○		観察、実験を通して速度は相対的なものであることを見出し表現できる。	
6		速度が変わる運動	○		○	物体が直線運動する場合の加速度を理解している。既習事項を踏まえて、実験の分析を考え、実施している。	
7	力と運動の法則	さまざまな力	○		○	身のまわりの様々な物体にはたらく力について主体的に考え、性質や共通点について考えようとしている。	
8		力の作図	○	○		力が働くときの条件を理解し、力を矢印で適切に書き表している。	
9	中間考査	確認テスト	○	○	○		
10	力と運動の法則	力とつり合い	○	○		二つの力が物体にはたらくときの力のつり合いの条件について理解している。	
11		力の合成と分解	○			力の合成と分解について、作図を通して理解している。	
12		垂直抗力と弾性力		○		力のつり合いの学習を基に、重力とつり合っている力の存在を推察している。	
13		慣性の法則	○			力がはたらかないか、つり合っているときの物体の運動の様子や、慣性の法則について理解している。	
14		「運動の変化」と「力」	○			物体にはたらく力、物体に生じる加速度、物体の質量についての関係（運動の法則）と運動方程式について理解している。	
15		作用反作用の法則	○		○	作用反作用の法則について理解している。	
16	期末考査	確認テスト	○	○	○		
17	力学的エネルギー	仕事	○			仕事とエネルギーの関係、仕事の原理について理解している。	
18		仕事率			○	仕事やかかった時間を基に、仕事の効率の良さについて考察し、表現しようとしている。	
19		運動エネルギー	○			仕事と運動エネルギーの関係について理解している。	
20		位置エネルギー	○			重力による位置エネルギーと弾性力による位置エネルギーについて理解している。	
21		力学的エネルギーの保存	○	○	○	力学的エネルギー保存の法則について理解し、実験を行ってその結果を考察・表現し、他者の考察と比較しながら議論し深く考えようとしている。	
22		いろいろな運動でみる力学的エネルギー	○		○	力学的エネルギーが保存されない場合について理解している。	
23	中間考査	確認テスト	○	○	○		
24	熱	温度と熱	○			温度について、熱運動の関連から定性的に理解し、温度には下限（絶対零度）があることを理解している。	
25		熱と物質	○			熱がエネルギーであることを理解し、物質の三態について理解している。	
26		熱の移動と保存		○	○	物質の種類によって温度変化に必要な熱量が異なるか調べる実験を行い、実験結果について考察・表現し、他者の考察と比較しながら議論して深く考えようとしている。	
27	波	いろいろな波	○			波は振動であることを理解し、波源や媒質について理解している。	
28		波の表し方	○	○		波の速さ、周期、振動数、波長の関係を理解している。	
29		横波と縦波	○			振動の方向にの違いによる縦波や横波を理解している。	
30		波の重ね合わせ	○		○	波の独立性と波の重ね合わせの原理について理解している。既習事項で理解が不十分な点について、振り返って理解を深めている。	
31	電気	動いていない電気、動いている電気	○			静電気や原子構造、電流の大きさの表し方や向きについて理解している。	
32		電流と電気抵抗		○		抵抗の形状と抵抗値の大きさにどのような関係があるか仮説を立てて実験し、実験結果を考察・表現している。	
33		直列接続と並列接続	○			2つの抵抗を直列接続・並列接続したときの合成抵抗について理解している。	
34		電力と電力量	○		○	電力と電力量、ジュール熱について理解している。既習事項で理解が不十分な点について、振り返って理解を深めている。	
35	年度末考査	確認テスト	○	○	○		
評価方法	（知識・技能）ペーパーテスト（思考・判断・表現）ワークシート・レポート （主体的に学習に取り組む態度）振り返りシート・ワークシート						
	※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考				合計時間数	2	単位×35週	70 時間

年 間 授 業 計 画 (令和7年度)

東京都立桐ヶ丘高校

教科	理科	科目	化学基礎	区分	選択必修履修	単位数	2
担当							
教科書副教材	新編 化学基礎 東京書籍						
学習目標	化学的な事物・現象についての基本的な概念や原理・法則を理解する。						
	化学的な事物・現象について探究する力を養う。						
	化学的な事物・現象について主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観点			評価の観点（評価規準）	
			知	思	態		
1	1 編 1 章物質の探求 ①物質の性質と分離	混合物と純物質、混合物の分離と精製	○		○	物質の分類について理解している。。同素体が、同じ元素で異なる物質になることに疑問を持っている。	
2		物質の三態、粒子の熱運動、絶対温度		○		水にインクを垂らすと色が自然と拡がっていく現象について考察している。	
3	②物質の成分	元素と元素記号、単体と化合物、元素の確認	○		○	元素記号について理解している。元素の確認の仕方に興味を持っている	
4	2 章物質の構成粒子 ①原子の構造	原子、原子核と電子、同位体	○	○		原子の構成について理解している。同位体が日常で利用される例について考えている。	
5	②電子配置と周期表	電子殻と電子配置、元素の周期表	○	○		電子核と電子の配置ついて理解している。周期表がどういったものなのかを理解している	
6	3 章物質と化学結合 ①イオンとイオン結合	イオンの形成、イオン式とイオンの名称	○			イオンがどのように形成されるかを理解している。	
7		イオン結合とイオン結晶	○			イオン結合の仕方を理解している。	
8		イオン結晶の性質		○	○	イオン結晶がなぜそのような性質なのかを考察している。	
9	②金属と金属結合	金属と金属結合、金属の性質と利用	○	○		金属結合について理解している。金属がなぜそのような性質なのかを理解している。	
10		前期中間考査	○				
11	③分子と共有結合	分子、分子の形成	○	○		共有結合について理解している。なぜ共有結合するのかについて考えている。	
12		分子の形、分子からなる物質、電気陰性度と分子の極性	○	○		分子にはそれぞれ形があることを理解している。分子の形がなぜそうなるかを考察している。	
13		分子結晶、共有結合の結晶	○	○		分子結晶・共有結合がなぜそのような性質を持つかに興味を示す。	
14		物質の構成粒子と物質の分類	○			粒子の種類と結合の種類の関係を理解している。	
15	2 編 1 章物質と化学変化 ①物質と分子と物質	原子の相対質量、原子量・分子量・式量		○	○	原子が相対質量で表されることに興味を持っている。それぞれの原子の相対質量を求められる。	
16		前期期末考査	○				
17		物質質量	○	○		物質質量という単位を理解している。物質質量を求めることができる。	
18		溶液の濃度	○		○	溶液の濃度を求めることができる。	
19	②化学変化の量的関係	化学反応式	○		○	化学反応式を正しく書くことができる。化学反応に興味を持つ。	
20		化学反応式と量的関係			○	化学反応と物質質量を関係させて考えることができる。	
21	2 章酸と塩基 ①酸と塩基	酸、塩基	○	○		酸・塩基の定義を理解している。	
22		酸と塩基の強さ		○		酸と塩基の強弱がなぜ起こるかを表現できる。	
23	②水素イオン濃度と pH	水の電離と水素イオン濃度、pH、指示薬と pH の測定	○	○		水素イオン濃度について理解している。ただし pH を求めることができる。	
24	③中和反応と塩の生成	酸と塩基の中和、塩		○	○	酸と塩基がどのように中和反応を起こすかを理解している。	
25	④中和反応の量的関係と中和滴定	中和反応の量的関係、中和滴定	○	○	○	中和反応と濃度を結び付けて考えられる。中和滴定の実験に興味を持っている。	
26		後期中間考査	○				
27	3 章酸化と還元 ①酸化と還元	酸化・還元と酸素の授受、酸化・還元と水素の授受	○	○	○	酸化と還元がどのように酸素・水素と関係しているかを理解している。	
28		酸化・還元と電子の授受	○	○		酸化と還元がどのように電子と関係しているかを理解してる。	
29		酸化・還元と酸化数	○	○		酸化・還元と酸化数の関係を理解してる。	
30		酸化剤と還元剤	○	○		酸化剤と還元剤の役割を理解してる。	
31		金属のイオン化傾向	○		○	金属のイオン化傾向が何かを理解してる。イオン化傾向が違う金属同士の反応に興味を持っている。	
32		金属の反応性	○		○	金属の反応性について理解してる。金属の反応のようすに興味を持って観察してる。	
33	②酸化還元反応の利用	電池のしくみ	○			電池の仕組みについて理解してる。	
34		電気分解	○	○		電気分解について理解している。電気分解すると起こる反応を表現できる。	
35		後期中間考査	○				
評価方法	(知識・技能) ペーパーテスト (思考・判断・表現) ワークシート・レポート (主体的に学習に取り組む態度) 振り返りシート・ワークシート						
	※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考				合計時間数	2	単位×35週	70 時間

年 間 授 業 計 画 (令和7年度)

東京都立桐ヶ丘高校

教科	理科	科目	生物基礎	区分	選択必修修	単位数	2
担当							
教科書副教材 東京書籍 新編生物基礎							
学習目標	1 生物や生命現象の持つ多様性を踏まえつつ、それらに共通する生物学の基本的な概念や原理・法則を理解する。 2 遺伝子・健康・環境など日常生活や社会に関わるテーマを通して、生物や生命現象に対しての興味・関心を高める。 3 観察、実験を通して生物や生命現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解する。 4 生物や生命現象の中から問題や課題を見出し、観察、実験などを通して探究する姿勢を身につける。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観		評価の観点（評価規準）		
			知	思 態			
1	生物の特徴	生物の概念		○	生物とは何か、「生きる」とはどういうことかについて考えることができる。		
2	生物の共通性	生物の共通性と多様性		○	さまざまな生物の共通性と多様性について知ろうという積極的な姿勢が見られる。		
3	細胞の構造と機能	動植物細胞の構造と機能、真核生物と原核生物	○	○	原始的な生物から高等な生物、動物と植物の細胞の違いについて知り、進化のプロセスと結びつけることができる。		
4	細胞の観察	細胞の観察と光学顕微鏡の使い方、マイクロメーターの使い方	○	○	光学顕微鏡の使い方を知り、細胞の観察・スケッチができるようになる。		
5	生命活動とエネルギー	生体を構成する物質	○		生体がどのような物質で構成されているか理解することができる。		
6	生体を支える代謝	A T P と酵素について	○	○	生物のエネルギー代謝を担うATPの構造と作用機構を理解する。また酵素についても同様とする。		
7	光合成の反応	光合成の反応、細胞共生説		○	光合成の概要について理解することができる。葉緑体の起源について、細胞内共生説について理解することができる。		
8		前期中間考査					
9	光合成に関する実験	葉緑体の観察、光合成生成物の確認		○	顕微鏡を正しく使い、葉緑体を観察することができる。また、光合成をする微生物を観察することができる。		
10	呼吸の反応	呼吸の反応	○	○	呼吸の仕組みと、化学反応式について理解することができる。		
11	1編のまとめ			○	ここまで学んだ内容について、全体像を把握し、簡単に説明することができる。		
12	遺伝子とその働き	遺伝子の本体、遺伝子と形質	○		遺伝子の本体がDNAであること、DNAと染色体、遺伝子の関係性について理解することができる。		
13	DNAの構造	DNAの構造、塩基の相補性	○	○	DNAの構造と、4種類の塩基の相補性について理解し、説明することができる。		
14	DNAとゲノム	塩基配列と遺伝情報	○	○	4種類の塩基によって記述される遺伝情報について理解し、簡単な練習問題を解くことができる。		
15	DNAの抽出実験	DNAの抽出実験		○	安全・確実に実験を遂行することができる。また、文献を参照し、実験レポートを書くことができる。		
16	DNAと細胞分裂	体細胞分裂の過程と染色体の動き		○	体細胞分裂の過程と、その際の染色体の動向について理解することができる。		
17		前期末考査					
18	生命現象と遺伝子	DNAとタンパク質合成、生命現象と遺伝子の発現		○	DNAによって記述された遺伝情報に従いタンパク合成が行われていることを理解する。		
19	2編のまとめ			○	ここまで学んだ内容について、全体像を把握し、簡単に説明することができる。		
20	生物の体内環境の維持	人体のつくり、循環系・自律神経系・内分泌系とその働き	○		恒常性という言葉の意味と、生物が持っている恒常性を維持するために必要な機構について理解することができる。		
21	腎臓の働き、肝臓の働き	腎臓・肝臓の構造と働き	○	○	腎臓による浸透圧調節について理解することができる。肝臓のうちの特に重要な5つを理解することができる。		
22	自律神経による調節	自律神経系の分布と働き	○	○	交感神経と副交感神経の違いについて理解し、また、体内における神経系の分布についても理解することができる。		
23	ホルモンによる調節	内分泌線からのホルモンの分布と標的細胞での受容		○	内分泌系の全体像について理解することができる。また、その作用機構について説明することができる。		
24	血糖値の調節	血糖値の調節	○		脊椎動物の血糖値調節システムの全体像を把握する。また、糖尿病について理解することができる。		
25		後期中間考査					
26	免疫のシステム	自然免疫と適応免疫、細胞性免疫・体液性免疫			脊椎動物の免疫システムについて、その全体像を理解することができる。		
27	免疫とヒト	感染症の予防とアレルギー、エイズについて		○	免疫システムにより自分の体が外敵から守られていること、AIDSについて理解する。		
28	腎臓・血液の観察実験	哺乳類の腎臓の構造と血液の成分		○	哺乳類の体液の浸透圧調節のメカニズムを理解できる。血液についても簡単に全体像を理解できる。		
29	3編のまとめ			○	ここまで学んだ内容について、全体像を把握し、簡単に説明することができる。		
30	生物・植生の多様性	生物・植生の多様性、熱帯雨林の生物多様性	○	○	生物や植生の多様性について理解することができる。熱帯雨林の生物多様性について理解することができる。		
31	植生と遷移	森林の構造、植生と森林の遷移	○		森林の構造や植生の遷移について理解することができる。1次遷移と二次遷移の表について理解することができる。		
32	気候とバイオーム	地球上の植生分布とバイオーム	○	○	日本と世界のバイオームについて理解することができる。水平分布と垂直分布について理解することができる。		
33	生態系とその保全	エネルギーと物質の循環、生態系のバランスと保全		○	エネルギーと物質の循環について、共通点と相違点を比較し、理解することができる。		
34	4編のまとめ			○	ここまで学んだ内容について、全体像を把握し、簡単に説明することができる。		
35		学年末考査					
評価方法	(知識・技能) ペーパーテスト (思考・判断・表現) ワークシート・レポート (主体的に学習に取り組む態度) 振り返りシート・ワークシート ※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考			合計時間数	2	単位×35週	70 時間	

年 間 授 業 計 画 (令和7年度)

東京都立桐ヶ丘高校

教科	理科	科目	地学基礎	区分	選択必修修	単位数	2
担当							
教科書副教材	改訂地学基礎（東京書籍）						
学習目標	宇宙と地球の成り立ちについて、人間生活と関連付けて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。						
	宇宙と地球の成り立ちについて、問題を見いだし見通しをもって観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて、科学的に考察し表現する。						
	地球の自然環境に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観 知 思 態		評価の観点（評価規準）		
1	ガイダンス	「地学基礎」についての学習内容と学習方法		○	○	科学探究の進め方について理解し、科学の方法と科学倫理を学ぶ大切さを理解している。	
2	地球の形と構造	地球の概念	○		○	地球の内部は層構造をしていて、それらは構成物質や状態の違いによることを理解している。	
3		地球の内部構造	○		○	地球の内部は層構造をしていて、それらは構成物質や状態の違いによることを理解している。	
4	地殻の形成	火成岩・堆積岩・変成岩	○		○	変成作用と変成作用で生じる変成岩について理解している。	
5	現在の地球の活動	火山	○		○	火山噴火の多様性について、火山の噴火と地形の特徴を整理している。	
6	プレートテクトニクス	地震	○	○	○	地震や大地形の形成にはプレートが関係していることを科学的に考察している。	
7		現在の地殻変動	○	○	○	地震が起こる場所とプレートの関係性に気づき、整理して表現できる。	
8		プレートテクトニクス	○		○	地震はプレートの境界付近でよく発生していることに気がつくとともに、その特徴を整理できる。	
9	中間テスト	確認テスト	○	○	○	記された用語を用いて節の学習事項をまとめられる。	
10	地球の変遷	大地形の形成	○		○	大地形の形成について、理解している。	
11		地層と化石	○		○	地層と化石について、理解している。	
12	古生物の変遷	地質構造の形成	○		○	変成作用と変成作用で生じる変成岩について理解している。	
13		化石と地質時代の区分	○		○	古生代の生物の特徴と変遷について、自然環境の変化と結びつけて理解している。	
14		初期生命と大気の変化	○		○	先カンブリア時代について、地球環境とその環境下における生物とその特徴を理解している。	
15	期末テスト	多様な生物の出現・哺乳類の繁栄	○		○	古生代の生物の特徴と変遷について、自然環境の変化と結びつけて理解している。	
16		確認テスト	○	○	○	地球の変遷について、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。	
17		大気と海洋	○		○	大樹の構造と運動に居ついて理解している。	
18	大気の運動	大気の動きと天気	○		○	大樹の字号機と天気について、理解している。	
19		地球の熱収支	○		○	地球の熱収支について、定量的にデータを整理することができる。	
20	海洋の運動	大気大循環	○		○	地球の熱収支について、定量的にデータを整理することができる。	
21		気象と気候値・海洋の層構造	○		○	実習の結果を踏まえ、その特徴や地球規模の熱輸送を理解している。	
22		海水の運動と循環	○		○	大気や海水の運動について、その特徴や地球規模の熱輸送を理解している。	
23	中間テスト	確認テスト	○	○	○	放射平衡の観点と温室効果の観点を踏まえ、その仕組みを科学的に考察し、表現している。	
24	太陽系の中の地球	太陽系の概念	○		○	宇宙の誕生と姿について、誕生の仕組みと宇宙の姿の特徴を理解している。	
25		太陽系の構造	○		○	太陽系の誕生について、太陽や惑星の誕生の仕組みを理解している。	
26	太陽系の誕生	太陽系の形成と地球の誕生	○		○	太陽系の構成について、太陽系の惑星の特徴を整理することができる。	
27		生命の星 地球	○		○	地球の特徴について、生命が存在する条件を、科学的データに基づき見いだそうとしている。	
28	太陽	太陽	○		○	太陽について、組成や誕生の仕組みを理解している。	
29		恒星の光・恒星の性質	○		○	恒星の光・恒星の性質について、理解している。	
30	宇宙の姿	宇宙の誕生	○		○	宇宙の誕生について、原因やメカニズムを理解している。	
31		銀河とその分布	○		○	銀河とその分布について、理解している。	
32	地球の環境	日本列島がつくる自然の特徴	○		○	日本列島が作る自然の特徴に打つ居て、理解している。	
33		異常気象と気候変動	○		○	異常気象と気候変動について、理解している。	
34	地球環境問題	オゾン層破壊・地球温暖化	○		○	オゾン層破壊や地球温暖化について、人間活動と紐づけて、理解している。	
35	期末テスト	確認テスト	○	○	○	自然環境について、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	
評価方法	(知識・技能) ペーパーテスト (思考・判断・表現) ワークシート・レポート (主体的に学習に取り組む態度) 振り返りシート・ワークシート ※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考				合計時間数	2	単位×35週	70 時間

年 間 授 業 計 画 （令和7年度）

東京都立桐ヶ丘高校

教科	保健体育	科目	体育基礎	区分	必修	単位数	3	
担当								
教科書副教材								
学習目標	(知) 自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を身に付ける。 (思) 運動についての課題を発見し、解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (感) 競争や協働の経験を通じて、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。							
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観点 知 思 態			評価の観点（評価規準）		
1	オリエンテーション、体育理論	体育を学ぶ重要性和と学び方、各種目について理解する。			○	体育を学ぶ重要性和と学び方を理解している。		
2	体づくり運動 陸上競技	ペアストレッチ、短距離走・長距離走	○	○	○	学習に積極的に取り組もうとしている。		
3		ボールを使った運動、短距離走・長距離走	○	○	○	自己の課題に応じた練習方法を選んでいる。		
4		ロープを使った運動、短距離走・長距離走	○	○	○	提示された動きのポイントやつまづきの事例を参考に、仲間の課題や出来ばえを伝えている。		
5		体づくりの運動、短距離走・長距離走	○	○	○	種目の特性を理解し、学習に積極的に取り組もうとしている。		
6		卓球	卓球の特性を理解する。基本的なルールについて理解する。	○	○	○	種目の特性を理解し、学習に積極的に取り組もうとしている。	
7	ストロークの基本動作を身に付ける、ラリー練習		○	○	○	技術の名称や行い方を理解している。		
8	ターゲットバードゴルフ		○	○	○	安全に留意して活動している。		
9	ニュースポーツ		ターゲットバードゴルフ	○	○	○	自己の課題に応じた練習方法を選んでいる。	
10			モルック	○	○	○	安全に留意して活動している。	
11		モルック	○	○	○	フェアなプレーを守ろうとしている。		
12	ダンス	現代的なリズムのダンス	○	○	○	学習に積極的に取り組もうとしている。		
13		現代的なリズムのダンス	○	○	○	自己の課題に応じた練習方法を選んでいる。		
14	体育理論	スポーツの発祥と発展（１）			○	学習に積極的に取り組もうとしている。		
15		スポーツの発祥と発展（２）			○	学習に積極的に取り組もうとしている。		
16	バドミントン	バドミントンの特性を理解する。基本的なルールについて理解する。	○	○	○	種目の特性を理解し、学習に積極的に取り組もうとしている。		
17		各種ショットの練習	○	○	○	技術の名称や行い方を理解している。		
18		ダブルスゲーム	○	○	○	提示された動きのポイントやつまづきの事例を参考に、仲間の課題や出来ばえを伝えている。		
19		シングルス ゲーム	○	○	○	マナーを守ったり、相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。		
20		団体戦	○	○	○	空いた場所をめぐる攻防をすることができる。		
21	バスケットボール	バスケットボールの特性を理解する。基本的なルールについて理解する。	○	○	○	種目の特性を理解し、学習に積極的に取り組もうとしている。		
22		ドリブル、パス、シュート	○	○	○	技術の名称や行い方を理解している。		
23		ドリブル、パス、シュート、ミニゲーム	○	○	○	安全に留意して活動している。		
24		2対1、3対2、3対3	○	○	○	自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。		
25		ゲーム、ルール説明	○	○	○	フェアなプレーを守ろうとしている。		
26	サッカー	サッカーの特性を理解する。基本的なルールについて理解する。	○	○	○	種目の特性を理解し、学習に積極的に取り組もうとしている。		
27		パス、ドリブル、シュート	○	○	○	技術の名称や行い方を理解している。		
28		パス、ドリブル、シュート	○	○	○	自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。		
29		パス、ドリブル、シュート、ミニゲーム	○	○	○	作戦などの話し合いに参加しようとしている		
30		ゲーム	○	○	○	仲間と協力する場で、分担した役割に応じた活動の仕方を見つけている。		
31	バレーボール	バレーボールの特性を理解する。基本的なルールについて理解する。	○	○	○	種目の特性を理解し、学習に積極的に取り組もうとしている。		
32		パス練習、サーブ練習	○	○	○	技術の名称や行い方を理解している。		
33		スパイク練習、3段攻撃	○	○	○	提示された動きのポイントやつまづきの事例を参考に、仲間の課題や出来ばえを伝えている。		
34		タスクゲーム	○	○	○	マナーを守ったり、相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。		
35		ゲーム	○	○	○	空いた場所をめぐる攻防をすることができる。		
評価方法	(知識・技能) 授業内評価・実技テスト（思考・判断・表現）授業内評価・振り返りノート (主体的に学習に取り組む態度) 授業参加状況・振り返りノート ※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。							
備考				合計時間数	3	単位×35週	105 時間	

年 間 授 業 計 画（令和7年度）

東京都立桐ヶ丘高校

教科	保健体育	科目	保健	区分	必修	単位数	2
担当							
教科書副教材	現代高等保健体育						
学習目標	(知)生涯を通じて自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための知識・能力を身に付ける						
	(思)健康についての自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考し、判断できる力を養う						
	(感)生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観			評価の観点（評価規準）	
			知	思	態		
1	健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた	さまざまな健康の考え方について学ぶ。健康の成り立させている要因について学ぶ。わが国の健康水準の変化とその背景について学ぶ。わが国の現在の健康問題について学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康・安全について、課題解決に役立つ知識や技能を身に付けているか。	
2	生活習慣病の予防と回復	生活習慣病の種類と要因について学ぶ。 生活習慣病の一次予防、二次予防について学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康課題を発見し、その解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表現しているか。	
3	がんの原因と予防 がんの治療と回復	がんの種類や原因について学ぶ。がんのおもな治療法や緩和ケアについて学ぶ。がんの検査の普及や情報サービスの整備などの社会的対策について学ぶ。	○	○	○	健康を優先し、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりに関する学習活動に主体的に取り組んでいるか。	
4	運動と健康	健康と運動の関係について学ぶ。目的に応じた健康的な運動のしかたについて学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康・安全について、課題解決に役立つ知識や技能を身に付けているか。	
5	前期中間考查		○	○			
6	食事と健康	食事と健康の関係について学ぶ。 健康的な食事のとり方について学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康課題を発見し、その解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表現しているか。	
7	休養・睡眠と健康	健康と休養の関係及び適切な休養のとり方について学ぶ。 健康と睡眠の関係及び健康によい睡眠のとり方について学ぶ。	○	○	○	健康を優先し、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりに関する学習活動に主体的に取り組んでいるか。	
8	喫煙と健康	喫煙者やその周囲の人にかかる害について学ぶ。 喫煙対策について、個人と社会に分けて学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康・安全について、課題解決に役立つ知識や技能を身に付けているか。	
9	飲酒と健康	飲酒による健康への短期的影響と長期的影響について学ぶ。 飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康課題を発見し、その解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表現しているか。	
10	薬物乱用と健康	薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について学ぶ。 薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策例について学ぶ。	○	○	○	健康を優先し、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりに関する学習活動に主体的に取り組んでいるか。	
11	精神疾患の特徴 精神疾患の予防	精神疾患の例をあげ、発症の要因とおもな症状について学ぶ。現代社会における精神保健の課題をあげる。精神疾患を予防する方法を学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康・安全について、課題解決に役立つ知識や技能を身に付けているか。	
12	精神疾患からの回復	精神疾患の治療について学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康・安全について、課題解決に役立つ知識や技能を身に付けているか。	
13	現代の感染症 感染症の予防	感染症とは何かについて潜伏期間や感染力なども含めて説明できるようにする。新興感染症と再興感染症が流行する要因を学ぶ。感染症への個人と社会の対策について学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康課題を発見し、その解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表現しているか。	
14	前期期末考查		○	○			
15	性感染症・エイズとその予防	性感染症・エイズがほかの感染症と異なる点について学ぶ。 性感染症・エイズの予防とその対策について個人と社会に分けて学ぶ。	○	○	○	健康を優先し、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりに関する学習活動に主体的に取り組んでいるか。	
16	健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり	意思決定・行動選択に影響を与える要因について学ぶ。社会環境の健康への影響について学ぶ。ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴を学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康・安全について、課題解決に役立つ知識や技能を身に付けているか。	
17	事故の現状と発生要因 安全な社会の形成	事故の実態と被害の実態について学ぶ。安全のために必要な個人の行動について学ぶ。すべての人たちに安全を確保するために必要な環境整備について学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康課題を発見し、その解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表現しているか。	
18	交通における安全	交通事故防止における個人の取り組みと交通環境の整備について学ぶ。 交通事故における責任を3つに分けて学ぶ。	○	○	○	健康を優先し、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりに関する学習活動に主体的に取り組んでいるか。	
19	応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当	応急手当の意義について学ぶ。傷病者を見出したときに確認・観察するポイントを学ぶ。日常的なけがや熱中症の応急手当ができるようにする。	○	○	○	個人及び社会生活における健康・安全について、課題解決に役立つ知識や技能を身に付けているか。	
20	心肺蘇生法	心肺蘇生法の方法と手順について学ぶ。 実際に心肺蘇生法をおこなうことができるようになる。	○	○	○	個人及び社会生活における健康課題を発見し、その解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表現しているか。	
21	ライフステージと健康 思春期と健康	ライフステージと健康の関連について学ぶ。各ライフステージで活用できる社会からの支援について学ぶ。思春期における体の変化を男女に分けて学ぶ。	○	○	○	健康を優先し、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりに関する学習活動に主体的に取り組んでいるか。	
22	性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康	性意識の男女差について学ぶ。性情報が性行動の選択に影響を及ぼすことを学ぶ。妊娠・出産の過程における健康課題について学ぶ。また、母子健康サービスについて学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康・安全について、課題解決に役立つ知識や技能を身に付けているか。	
23	後期中間考查		○	○			
24	避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康	家族計画の意義と適切な避妊法について学ぶ。人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について学ぶ。結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動を学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康課題を発見し、その解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表現しているか。	
25	中高年期と健康	加齢にともなう心身の老化について学ぶ。 高齢社会に必要な社会的な取り組みについて学ぶ。	○	○	○	健康を優先し、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりに関する学習活動に主体的に取り組んでいるか。	
26	働くことと健康 労働災害と健康	働き方や働く人の健康問題の変化について学ぶ。労働災害の種類とその原因について学ぶ。職場がおこなう健康に関する取り組みについて学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康・安全について、課題解決に役立つ知識や技能を身に付けているか。	
27	健康的な職業生活	余暇を積極的にとることの意義を学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康・安全について、課題解決に役立つ知識や技能を身に付けているか。	
28	大気汚染と健康	大気にかかわる地球規模の健康問題について学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康課題を発見し、その解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表現しているか。	
29	水質汚濁、土壌汚染と健康	大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生の仕組みを学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康課題を発見し、その解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表現しているか。	
30	環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備	環境汚染による健康被害を防ぐ方法について学ぶ。産業廃棄物の処理について学ぶ。ごみの処理の現状やその課題について学ぶ。上下水道のしくみと健康にかかわる課題を学ぶ。	○	○	○	健康を優先し、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりに関する学習活動に主体的に取り組んでいるか。	
31	食品の安全性 食品衛生にかかわる活動	食品の安全性に関する今日の課題について学ぶ。食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について学ぶ。食品の安全性を確保するための個人の役割について学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康・安全について、課題解決に役立つ知識や技能を身に付けているか。	
32	保健サービスとその活用 医療サービスとその活用	保健行政の役割について学ぶ。保健サービスの活用について学ぶ。さまざまな医療機関の役割について学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康課題を発見し、その解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表現しているか。	
33	医薬品の制度とその活用	医薬品の安全性を守る取り組みについて学ぶ。	○	○	○	個人及び社会生活における健康課題を発見し、その解決を目指して総合的に考え、判断し、それらを表現しているか。	
34	さまざまな保健活動や社会的対策 健康に関する環境づくりと社会参加	国民健康・民間健康などの保健活動について学ぶ。行政機関による社会的対策について学ぶ。健康づくりへの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを学ぶ。	○	○	○	健康を優先し、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりに関する学習活動に主体的に取り組んでいるか。	
35	学年末考查		○	○			
評価方法	（知識・技能）ペーパーテスト（思考・判断・表現）ワークシート・レポート （主体的に学習に取り組む態度）振り返りシート・ワークシート						
	※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考				合計時間数	2	単位×35週	70 時間

年 間 授 業 計 画 （令和7年度）

東京都立桐ヶ丘高校

教科	芸術	科目	音楽 I	区分	選択必修	単位数	2
担当							
教科書副教材	音楽 I Tutti+						
学習目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育て、創造的な表現や鑑賞の能力を伸ばす。 表現の為に必要な楽典、文化的、歴史的な背景等を身につける。 知識、技能を生かしながら、自己のイメージを持って音楽表現を創意工夫する。 主体的、協同的に音楽活動に取り組む。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観点			評価の観点（評価規準）	
			知	思	態		
1	オリエンテーション	校歌、発声、教科書の J ポップなどを歌う	○		○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
2	歌声を響かせよう	校歌、発声、教科書の J ポップなどを歌う	○		○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
3	日本歌曲	教科書の親しみやすい歌を歌う	○		○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
4	日本歌曲	「浜辺の歌」	○	○		出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
5	四季の歌	「夏の思い出」	○	○		出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
6	英語の歌	「ドレミの歌」「エーデルワイス」等	○		○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
7	中間考査					出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
8	実技試験	校歌実技テスト		○		出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
9	季節の歌（七夕）	「星に願いを」、CD鑑賞「惑星」			○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
10	世界の歌に親しむ	東欧、ロシアの歌の旅	○	○		出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
11	〃	イタリア民謡	○	○		出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
12	イタリア語の歌	Caro mio ben	○	○		出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
13	ドイツ語の歌	野ばら	○	○		出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
14	期末考査					出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
15	オーケストラの魅力を知ろう	オーケストラの楽器と曲に親しむ	○			出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
16	〃	〃	○			出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
17	さまざまな時代のピアノ曲をきく	ベートーベン、ショパンのピアノ作品の違いを知る	○			出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
18	期末考査					出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
19	物語と音楽の関わり	勸進帳	○		○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
20	〃	「天使にラブソング」その他	○		○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
21	〃	〃	○		○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
22	合唱	「花は咲く」合唱		○	○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
23	合唱	「花は咲く」練習		○	○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
24	実技試験	歌唱実技テスト		○		出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
25	中間考査					出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
26	世界の歌	「オーシャンリゼ」その他		○	○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
27	日本の心の歌	「こきりこ」「谷茶前」等	○		○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
28	季節の歌	クリスマスソング特集	○	○		出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
29	世界の民族音楽について ギター	アジアの民族音楽等 ギターメロディ練習		○	○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
30	ギター、合唱	合唱練習		○	○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
31	〃	〃		○	○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
32	〃	〃		○	○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
33	実技試験	ギター実技試験		○	○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
34	卒業式式歌				○	出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
35	期末考査					出席状況、 出物	授業への取り組み、 実技テスト、 提
評価方法	（知識・技能）テスト・プリント（思考・判断・表現）ワークシート・レポート・実技テスト （主体的に学習に取り組む態度）振り返りシート・ワークシート						
	※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考				合計時間数	2	単位×35週	70 時間

年 間 授 業 計 画 （令和7年度）

東京都立桐ヶ丘高等学校

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	区分	必修選択	単位数	2
担当							
教科書副教材	高校生の美術Ⅰ（日本文教出版）						
学習目標	○意図に応じて用具の特性を生かして使い分ける（ア知識・技能） ○感性や想像力を働かせて構図を工夫し、造形的な美しさを表現する（イ思考・判断・表現） ○主体的な制作に取り組み、鑑賞を通して他者の作品の良さを感じ取る（ウ主体的に学習に取り組む態度）						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観 知 思 態			評価の観点（評価規準）	
1	オリエンテーション	年間計画、授業の留意点について	○			主体的に取り組もうとしているか（ウ主体的に学習に取り組む態度）	
2	「明度」の学習	鉛筆による明暗の6段階がラダーション制作	○	○		正確な形をとり、描写する（ア知識・技能） 造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
3	「鉛筆デッサン」（手）	鉛筆デッサン	○	○		正確な形をとり、描写する（ア知識・技能） 造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
4	〃	動きや構図を考えて表現する	○	○		正確な形をとり、描写する（ア知識・技能） 造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
5	〃	〃	○	○		正確な形をとり、描写する（ア知識・技能） 造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
6	〃	鑑賞および講評			○	鑑賞を通して他者の作品の良さを感じ取る（ウ主体的に学習に取り組む態度）	
7	（中間考査）						
8	「絵画表現」	色彩の学習、デッサン、彩色	○	○		主体的に取り組もうとしているか（ウ主体的に学習に取り組む態度）	
9	〃	絵画制作	○	○		正確な形をとり、描写する（ア知識・技能） 造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
10	〃	絵画制作	○	○		正確な形をとり、描写する（ア知識・技能） 造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
11	〃	絵画制作	○	○		正確な形をとり、描写する（ア知識・技能） 造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
12	〃	絵画制作	○	○		正確な形をとり、描写する（ア知識・技能） 造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
13	〃	絵画制作				正確な形をとり、描写する（ア知識・技能） 造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
14	（期末考査）						
15	〃	絵画制作	○	○		正確な形をとり、描写する（ア知識・技能） 造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
16	〃	絵画制作	○	○		正確な形をとり、描写する（ア知識・技能） 造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
17	〃	絵画制作	○	○		正確な形をとり、描写する（ア知識・技能） 造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
18	〃	絵画制作	○	○		正確な形をとり、描写する（ア知識・技能） 造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
19	〃	鑑賞および講評	○	○		鑑賞を通して他者の作品の良さを感じ取る（ウ主体的に学習に取り組む態度）	
20	「立体的な表現」	木彫制作	○	○		意図に応じて用具を使い分ける（ア知識・技能）造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
21	〃	イメージデッサンおよびエスキース	○	○		意図に応じて用具を使い分ける（ア知識・技能）造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
22	〃	道具の取り扱い方	○	○		意図に応じて用具を使い分ける（ア知識・技能）造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
23	〃	木彫加工	○	○		意図に応じて用具を使い分ける（ア知識・技能）造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
24	〃	木彫加工	○	○		意図に応じて用具を使い分ける（ア知識・技能）造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
25	（中間考査）						
26	〃	木彫加工	○	○		意図に応じて用具を使い分ける（ア知識・技能）造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
27	〃	木彫加工	○	○		意図に応じて用具を使い分ける（ア知識・技能）造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
28	〃	木彫加工	○	○		意図に応じて用具を使い分ける（ア知識・技能）造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
29	〃	木彫加工	○	○		意図に応じて用具を使い分ける（ア知識・技能）造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
30	〃	木彫加工	○	○		意図に応じて用具を使い分ける（ア知識・技能）造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
31	〃	木彫加工	○	○		意図に応じて用具を使い分ける（ア知識・技能）造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
32	〃	表面処理	○	○		意図に応じて用具を使い分ける（ア知識・技能）造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
33	〃	表面処理	○	○		意図に応じて用具を使い分ける（ア知識・技能）造形的な美しさを感じ取り、表現を深める（イ思考・判断・表現）	
34	〃	鑑賞および講評			○	鑑賞を通して他者の作品の良さを感じ取る（ウ主体的に学習に取り組む態度）	
35	（年度末考査）						
評価方法	（知識・技能）基礎的な技能を使っての作品制作（思考・判断・表現）アイディアスケッチ、ワークシート、応用的な技能を使っての作品制作（主体的に学習に取り組む態度）振り返りシート・ワークシート・制作姿勢 ※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考				合計時間数	2	単位×35週	70 時間

年 間 授 業 計 画 (令和7年度)

東京都立桐ヶ丘高校

教科	芸術	科目	工芸 I	区分	必修	単位数	2
担当							
教科書副教材	工芸 I						
学習目標	計画的にものづくりを行う態度を身に付ける。 材料や用具の取扱い方を理解させ、効果的に使用する。 用途や機能について構想する能力を養うとともに、作品の良さを味わう心情を育てる。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観点			評価の観点 (評価規準)	
			知	思	態		
1	オリエンテーション	工芸を学習する意義について			○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
2	木材による調理用ヘラ	材料について、アイデアスケッチ		○	○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
3	〃	アイディアスケッチ、鋸で形を切り出す		○	○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
4	〃	切り出し、削り出し		○	○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
5	〃	〃		○	○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
6	〃	〃		○	○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
7	中間考査						
8	〃	削り		○	○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
9	〃	紙ヤスリで磨く (80番→150番→240番→400番)	○		○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
10	〃	紙ヤスリで磨く (600番→800番→1000番)	○		○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
11	〃	オイル塗布	○		○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
12	〃	仕上げ作業、鑑賞、評価		○	○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
13	期末考査						
14	文化祭について	文化祭展示・鑑賞について				・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
15	鋳造によるペーパーウエイトの製作	ニクロムカッターの使い方	○		○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
16	〃	発砲スチロールで形を作る		○	○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
17	〃	鋳造作業			○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
18	〃	棒ヤスリで形を整える		○	○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
19	〃	〃		○	○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
20	〃	紙ヤスリで磨く (80番→150番→240番→400番)	○		○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
21	〃	〃	○		○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
22	〃	紙ヤスリで磨く (600番→800番→1000番→2000番)	○		○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
23	〃	〃	○		○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
24	〃	仕上げ作業、鑑賞及び講評		○	○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
25	中間考査						
26	七宝焼きによる製作	アイディアスケッチ、裏引き	○	○	○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
27	基本の制作	酸処理、表盛り、焼成	○		○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
28	〃	鑑賞及び講評		○	○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
29	応用の制作	アイディアスケッチ、裏引き	○	○	○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
30	〃	酸処理、表盛り、焼成	○		○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
31	〃	鑑賞及び講評		○	○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
32	自由制作	アイディアスケッチ、裏引き	○	○	○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
33	〃	酸処理、表盛り、焼成	○		○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
34	〃	鑑賞及び講評、まとめ		○	○	・授業の取り組み、出席状況 ・作品の創意工夫	・課題作品などの提出物
35	年度末考査						
評価方法	(知識・技能) ペーパーテスト (思考・判断・表現) ワークシート・レポート (主体的に学習に取り組む態度) 振り返りシート・ワークシート ※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考				合計時間数	2	単位× 3 5 週	70 時間

年 間 授 業 計 画 （令和7年度）

東京都立桐ヶ丘高校

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	区分	必修修	単位数	2
担当							
教科書副教材	書Ⅰ						
学習目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観点 知 思 態			評価の観点（評価規準）	
1	オリエンテーション	書写から書道へ 文房四宝について 書の意義について		○	○	・提出物（課題作品、ワークシート） ・学習記録の記入状況	
2	漢字の書の学習 楷書	書体の変遷 楷書の特徴		○	○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
3	〃	九成宮醴泉銘の鑑賞と臨書	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
4	〃	孔子廟堂碑の鑑賞と臨書	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
5	〃	雁塔聖教序の鑑賞と臨書	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
6	中間考査					・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
7	漢字の書の学習 行書	行書の特徴		○	○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
8	〃	蘭亭序の鑑賞と臨書	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
9	〃	風信帖の鑑賞と臨書	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
10	漢字の書の学習 篆書	篆書（小篆）の特徴 泰山刻石の鑑賞と臨書		○	○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
11	〃	篆刻 姓名印を刻す	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
12	〃	〃	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
13	期末考査					・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
14	漢字の書の学習 隷書	隷書の特徴 曹全碑の鑑賞と臨書	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
15	漢字の書の学習 草書	草書の特徴 真草千字文の鑑賞と臨書	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
16	漢字の書の学習 創作	楷行書と篆隷草書を組み合わせた作品制作	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
17	〃	〃	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
18	〃	〃	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
19	くらしの中の書 硬筆	楷行書タテヨコ書き・掲示物を書く	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
20	〃	〃	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
21	〃	伝統的な書式を生かして手紙を書く	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
22	くらしの中の書 毛筆	年賀状または寒中見舞いと宛名を書く		○	○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
23	中間考査					・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
24	くらしの中の書 毛筆	年賀状または寒中見舞いと宛名を書く	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
25	仮名の書の学習	成立、種類について 筆遣い 平仮名		○	○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
26	〃	変体仮名 連綿		○	○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
27	〃	蓬莱切の鑑賞と臨書		○	○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
28	〃	〃	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
29	漢字仮名交じりの書の学習	意図に応じた表現 古典に学ぶ		○	○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
30	〃	漢字仮名交じりの書の表現と鑑賞	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
31	〃	全体構成の工夫 相互批評		○	○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
32	期末考査					・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
33	〃	意図に応じた表現 構成の工夫		○	○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
34	〃	意図に応じた表現 構成の工夫	○		○	・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
35	期末考査					・授業態度、出席状況 ・提出物（課題作品、ワークシート）	
評価方法	（知識・技能）（思考・判断・表現）ワークシート・レポート （主体的に学習に取り組む態度）振り返りシート・ワークシート ※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考				合計時間数	2	単位×35週	70 時間

年 間 授 業 計 画 (令和7年度)

東京都立桐ヶ丘高校

	外国語	科目	英語コミュニケーションⅠ	区分	必修	単位数	2
担当							
教科書副教材 All Aboard! English Communication Ⅰ							
学習目標	(知識技能) 外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身につける。						
	(思考判断表現) 場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で理解したり表現したりする。						
	(態度) 言語やその背景にある文化を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながらコミュニケーションを図ろうとする。また、聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとする。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観点 知 思 態			評価の観点（評価規準）	
1	Pre-Lesson 1, 2	be動詞、一般動詞の使い方			○	他者へ配慮しながらコミュニケーションを図ろうとしている。聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。	
2	人称代名詞	人称代名詞			○		
3	Lesson 1 Breakfast around the World	好きな食べ物について、英語で述べることができる。 目標文法：動詞の過去形	○				
4	Lesson 1 Breakfast around the World	好きな食べ物について、英語で述べることができる。 目標文法：動詞の過去形	○			言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身につけている。	
5	Lesson 1 Breakfast around the World	目標文法のまとめ 目標文法を活用した言語活動	○	○		外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身につけている。また、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で理解したり表現しようとする。	
6	Lesson 1 Breakfast around the World	目標文法を活用した言語活動		○	○	情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で理解したり表現したりしようとする。また、他者へ配慮しながら、コミュニケーションを図り、表現しようとしている。	
7	前期中間考査						
8	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	好きな動物について、英語で述べることができる。 目標文法：現在進行形・過去進行形	○			言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身につけている。	
9	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	好きな動物について、英語で述べることができる。 目標文法：現在進行形・過去進行形	○				
10	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	目標文法のまとめ 目標文法を活用した言語活動	○	○			
11	Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	目標文法を活用した言語活動		○	○	情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で理解したり表現したりしようとする。また、他者へ配慮しながら、コミュニケーションを図り、表現しようとしている。	
12	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku	ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べることができる。目標文法：助動詞	○			言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身につけている。	
13	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku	ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べることができる。目標文法：助動詞	○				
14	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku	目標文法のまとめ 目標文法を活用した言語活動	○	○			
15	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku	目標文法を活用した言語活動		○	○	情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で理解したり表現したりしようとする。また、他者へ配慮しながら、コミュニケーションを図り、表現しようとしている。	
16	前期期末考査						
17	Lesson 4 A Miracle Mirror	行ってみたい場所について、英語で述べることができる。目標文法：to不定詞	○			言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身につけている。	
18	Lesson 4 A Miracle Mirror	行ってみたい場所について、英語で述べることができる。目標文法：to不定詞	○				
19	Lesson 4 A Miracle Mirror	目標文法のまとめ 目標文法を活用した言語活動	○	○			
20	Lesson 4 A Miracle Mirror	目標文法を活用した言語活動		○	○	情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で理解したり表現したりしようとする。また、他者へ配慮しながら、コミュニケーションを図り、表現しようとしている。	
21	Lesson 5 Learning from the Sea	将来の夢について、英語で述べることができる。 目標文法：動名詞	○			言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身につけている。	
22	Lesson 5 Learning from the Sea	将来の夢について、英語で述べることができる。 目標文法：動名詞	○				
23	Lesson 5 Learning from the Sea	目標文法のまとめ 目標文法を活用した言語活動	○	○			
24	Lesson 5 Learning from the Sea	目標文法を活用した言語活動		○	○	情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で理解したり表現したりしようとする。また、他者へ配慮しながら、コミュニケーションを図り、表現しようとしている。	
25	後期中間考査						
26	Lesson 6 A Funny Pictgure from the Edo Period	好きな絵について、英語で述べることができる。 目標文法：受け身	○			言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身につけている。	
27	Lesson 6 A Funny Pictgure from the Edo Period	好きな絵について、英語で述べることができる。 目標文法：受け身	○				
28	Lesson 6 A Funny Pictgure from the Edo Period	目標文法のまとめ 目標文法を活用した言語活動	○	○			
29	Lesson 6 A Funny Pictgure from the Edo Period	目標文法を活用した言語活動		○	○	情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で理解したり表現したりしようとする。また、他者へ配慮しながら、コミュニケーションを図り、表現しようとしている。	
30	Lesson 7 A Diary of Hope	関心のある人物について、英語で述べることができる。目標文法：比較表現	○			言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身につけている。	
31	Lesson 7 A Diary of Hope	関心のある人物について、英語で述べることができる。目標文法：比較表現	○				
32	Lesson 7 A Diary of Hope	目標文法のまとめ 目標文法を活用した言語活動	○	○			
33	Lesson 7 A Diary of Hope	目標文法を活用した言語活動		○	○	情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で理解したり表現したりしようとする。また、他者へ配慮しながら、コミュニケーションを図り、表現しようとしている。	
34	一年間のまとめ	一年間の学習の復習 既習文法を活用した言語活動	○	○		外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を身につけている。また、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で理解したり表現しようとする。	
35	年度末考査						
評価方法	(知識・技能) ペーパーテスト (思考・判断・表現) ペーパーテスト・ハンドアウト (主体的に学習に取り組む態度) ハンドアウト						
	※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考				合計時間数	2	単位×35週	70 時間

年 間 授 業 計 画 （令和7年度）

東京都立桐ヶ丘高校

教科	家庭科	科目	家庭基礎	区分	必修	単位数	2
担当							
教科書副教材「図説家庭基礎」（実教出版）・学習ノート（実教出版）							
学 習 目 標	・ 人の一生を家族や生活の営みとのかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活のありかた、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立のための衣食住や消費生活・環境などの基礎的な知識・技術を身につける。 ・ 生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身につける。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観 知 思 態		評価の観点（評価規準）		
1	自分らしい生き方と家族	オリエンテーション 自分を見つめる	○		・各ライフステージごとの発達課題について理解し、それぞれのライフイベントと関連させて理解することができる。 ・4つの自立について理解し、自分らしさは一人ひとり異なることを理解できる。		
2		生涯発達する人生	○				
3		これからの人生をデザインする		○	・自分の適性について考えることができる。		
4		共に生きる家族 変化していく家族 家庭と家族の抱える問題	○		・家族に関する課題が生じており、それに対する社会的支援があることを理解できる。		
5		家族に関する法律の理念と背景	○		・家族に関する法律についての知識を身につけている。		
6		職業と家庭や地域での仕事 共に働くことと生活時間	○		・現在の生活時間の状況をふまえ、生活時間と労働との関係について理解できる。		
7	消費者として自立する	消費行動と契約 多様化する販売方法と問題商法	○	○	・多様化する販売方法の種類や内容について知識が身についている。		
8		適切な契約、製品による事故 支払い方法の多様化と消費者信用		○	・問題商法の種類や対処法について知識が身についている。		
9		消費者の権利と責任 私たちの生活と環境問題	○		・問題商法の被害を未然に防いだり、早期に解決するための方法について思考・判断ができる。		
10	経済的に自立する	家計と収入・支出	○		・家計管理の重要性を理解できる。		
11		貯蓄・負債と現代の家計の特徴	○		・収入と支出の種類と特徴がわかる。		
12	衣生活をつくる	人と衣服のかかわり	○		・衣服が持つ機能を理解することができる。		
13		衣服の機能 衣服の素材	○		・繊維の種類と特徴と用途が理解できる。		
14		衣服素材の性能 繊維の改質・加工	○		・どのような素材がどのような性質を持つのかわかる。		
15		衣生活の計画 衣服の手入れ	○	○	・衣服を購入する際の表示の見方、洗濯する際の表示の見方がわかる。		
16		家庭での洗濯・保管 衣生活と資源・環境		○	○	・湿式洗濯・乾式洗濯などの洗濯の種類や、洗剤のはたらきについて理解できる。 ・実験に積極的に参加しようとしている。	
17	食生活をつくる	私たちの食生活 食品の栄養素とからだの成分	○		・生活習慣病、摂食障害、月経異常などと食生活がかかわっていることを理解できる。		
18		五大栄養素	○		・5大栄養素と水についての人のからだの中での働き、また、人のからだの成分についての基礎的知識を習得できる。		
19		五大栄養素② 調理の基本	○				
20		調理実習①		○	○	・調理に関する基本的な「切る」「炒める」「ゆでる」「焼く」などの調理技術を身につけ、実際に調理ができるようになる。	
21		食品を選び、保存する 食品の衛生と安全		○	○	・食中毒の種類や予防法等について学び、衛生的な調理や食事管理ができるようになる。	
22		調理実習②	○	○	○	・調理に関する基本的な「切る」「炒める」「ゆでる」「焼く」などの調理技術を身につけ、実際に調理ができるようになる。	
23		食事摂取基準と食品群別摂取量のめやす	○		・食品群別摂取量を理解し、何をどれくらい食べるのかを理解することができる。		
24		献立作成 これからの食生活を考える	○		・ライフステージと栄養の関係、献立作成時のポイントを理解できる。		
25		調理実習③		○	○	・調理に関する基本的な「切る」「炒める」「ゆでる」「焼く」などの調理技術を身につけ、実際に調理ができるようになる。	
26		食品表示	○	○	・食品の旬や品質表示の見方、選択する際のポイントがわかり、食品を適切に選択することができる。		
27	住生活をつくる	人と住まいのかかわり 住空間の成り立ちと平面計画	○		・平面図が読み取れるようになる。		
28		健康と安全に配慮した住まいの管理	○		・日照・日射・採光・照明、など、健康的な住まい環境における知識が身についている。		
29	子どもとかかわる	子どもを知る からだと心の発達	○		・誕生から幼児期までの子どものからだの発達について理解する。		
30		子どもの生活習慣・健康管理・安全	○		・発達段階に応じた子どもの基本的な生活習慣や社会的生活習慣とその重要性について理解できる。		
31		子どもと遊び 子どもの人間形成と親の役割	○		・遊びの意義と形態を理解し、遊びは子どもの発達にとって重要なものであることを理解する。		
32		すこやかに育つ環境 子どもの権利と福祉	○		・家庭保育・集団保育の重要性を理解し、子どもがすこやかに育つための環境を理解できる。		
33	高齢者とかかわる	高齢社会に生きる私たちの暮らし 高齢者の心身の変化	○		・現在の高齢社会、高齢化の進む社会について統計などより理解することができる。		
34		高齢者の生活 豊かな高齢期を迎えるしくみ	○		・高齢期に関する制度について理解し、高齢社会を社会全体で支えるしくみを理解することができる。		
35	社会とかかわる	支えあう暮らしとは 私たちの社会福祉	○		・社会福祉やインクルージョンの意味・考え方や、支えあう社会づくりの重要性を理解できる。		
評価方法	（知識・技能）ペーパーテスト（思考・判断・表現）ワークシート・レポート （主体的に学習に取り組む態度）振り返りシート・ワークシート						
	※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考				合計時間数	2	単位×3 5週	70 時間

年 間 授 業 計 画 （令和7年度）

東京都立桐ヶ丘高校

教科	情報	科目	情報Ⅰ	区分	必修履修	単位数	2
担当							
教科書副教材	情報Ⅰ（第一学習社） 担当者独自プリント						
学習目標	（知）情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。						
	（思）様々な事象を情報とその結び付きと捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。						
	（態）情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観点 知 思 態			評価の観点（評価規準）	
1	情報社会の問題解決	情報とメディア、文字入力の練習	○	○	○	・情報とその役割を理解し、メディアによる情報の伝達をその特性に応じて活用できる。 ・情報やメディアの正しい活用について理解し、責任と態度ある行動ができる。	
2	情報社会の問題解決	情報の検索と活用、タイピング練習	○	○	○	・ネット上の情報検索について学習し、すばやく正確に目的情報を収集できる。 ・情報技術を活用したサービスの利点と注意点について正しく理解することができる。	
3	情報社会の問題解決	情報セキュリティの重要性、タイピング練習	○	○	○	・機密性・完全性・可用性の重要性を理解する。 ・技術的な対策だけでなく、組織や個人がおこなうべき対策を理解することができる。	
4	情報社会の問題解決	情報モラル、タイピング練習	○	○	○	・適切な情報発信とは何か、自ら判断できる。 ・情報機器の適切な利用方法とは何か、時と場所などを考えて使うことができる。	
5	情報社会の問題解決	中間調査前の復習	○	○		上記目標に向けて学習に取り組んでいる	
6	中間調査		○	○		上記目標に向けて学習に取り組んでいる	
7	情報社会の問題解決	情報に関する法規や制度	○	○	○	・法規や制度を遵守することの重要性を理解することができる。 ・情報に関する法規や制度に適切に対応する力を身につけることができる。	
8	情報社会の問題解決	情報技術と生活の変化、Word演習	○	○	○	・情報技術が人や社会にはたす役割とおよぼす影響について理解することができる。 ・情報技術がもたらした望ましくない点について考えることができる。	
9	情報社会の問題解決	情報技術の未来と生活、Word演習	○	○	○	・AIの現在と未来について学習し、将来予想される生活の変化について考える。 ・情報技術の進歩により、実現が難しいとされていた事情の解決策について理解する。	
10	コミュニケーションと情報デザイン	コミュニケーション、Word演習	○	○	○	・情報技術の発達でコミュニケーション手段が変化したことを理解することができる。 ・いろいろなコミュニケーション手段を適切に選択できる。	
11	コミュニケーションと情報デザイン	コミュニケーション手段と表現メディア、Word演習	○	○	○	・メディアとコミュニケーション手段の関係を理解することができる。 ・目的や状況に応じてメディアとコミュニケーション手段を選択することができる。	
12	コミュニケーションと情報デザイン	情報デザインとは、Word演習	○	○	○	・情報デザインが人や社会にはたしている役割を理解することができる。 ・身近なものやサービスを情報デザイン視点でとらえ、評価することができる。	
13	コミュニケーションと情報デザイン	わかりやすい表現、Word演習	○	○	○	・レイアウトの基本をおさえ、見やすく表現するための工夫を考えることができる。 ・与えられた情報に対し、その特徴をとらえ視覚的に表現することができる。	
14	情報社会の問題解決 コミュニケーションと情報デザイン	期末調査前の復習	○	○		上記目標に向けて学習に取り組んでいる	
15	期末調査		○	○		上記目標に向けて学習に取り組んでいる	
16	コミュニケーションと情報デザイン	効果的な表現、Word演習	○	○	○	・さまざまな視覚効果の特徴を理解し、目的に応じた効果的な手段を身につける。 ・身近なソフトウェアを活用し、どのような効果があらわれるか実践できる。	
17	コミュニケーションと情報デザイン	情報デザインの実践、Excel演習	○	○	○	・制作過程を通じて、さまざまな要素からデザインや製品ができるかを理解する。 ・多くの人が活用するデザインとは何か考えることができる。	
18	コンピュータとプログラミング	コンピュータの数、Excel演習	○	○	○	・コンピュータが用いる2進法の性質と表現方法を理解することができる。 ・コンピュータの計算において誤差が発生する原因を理解することができる。	
19	コンピュータとプログラミング	コンピュータの働くしくみ、Excel演習	○	○	○	・コンピュータの構成を理解し、動作の概要を説明することができる。 ・コンピュータが計算をおこなうしくみを理解し、簡単な論理回路の基本的な動作を述べることができる。	
20	コンピュータとプログラミング	さまざまなデータをコンピュータで扱う、Excel演習	○	○	○	・コンピュータ内のあらゆるデータがどのような形で取り込まれるのかを理解することができる。 ・デジタル化によってどのような利点が生まれるのか理解することができる。	
21	コンピュータとプログラミング	モデルとモデル化、Excel演習	○	○	○	・さまざまなモデルが利用されていることを知る。 ・知りたい内容によって、適切なモデルを選ぶことができる。	
22	コンピュータとプログラミング	コンピュータとシミュレーション、Excel演習	○	○	○	・身のまわりで、さまざまなシミュレーションが利用されていることを知る。 ・表計算ソフトウェアを活用し、シミュレーションを行うことができる。	
23	コンピュータとプログラミング	アルゴリズム、Excel演習	○	○	○	・処理の手順をフローチャートであらわすことができる。 ・簡単なアルゴリズムをプログラミング言語などであらわし、コンピュータに実行させることができる。	
24	コミュニケーションと情報デザイン コンピュータとプログラミング	中間調査前の復習	○	○		上記目標に向けて学習に取り組んでいる	
25	中間調査		○	○		上記目標に向けて学習に取り組んでいる	
26	コンピュータとプログラミング	アルゴリズムの工夫、PowerPoint演習	○	○	○	・アルゴリズムを工夫すれば効率のよいプログラムになることを理解することができる。 ・アルゴリズムの弱点を発見し修正してよりよいプログラムにすることができる。 ・機器の構成や役割を学び、適切なネットワーク接続を理解することができる。 ・さまざまな情報通信ネットワークの中から、利用・管理方法を理解することができる。	
27	情報通信ネットワークとデータの活用	情報を送受信するしくみ、PowerPoint演習	○	○	○	・インターネットのしくみを理解しサービスを安全かつ効率的に活用することができる。 ・目的や状況に応じてインターネットにおける必要なサービスを利用することができる。	
28	情報通信ネットワークとデータの活用	インターネット上のサービスのしくみ、PowerPoint演習	○	○	○	・情報セキュリティなどに配慮して、インターネットや情報機器を使うことができる。 ・開発された技術のしくみと必要性を理解することができる。	
29	情報通信ネットワークとデータの活用	情報セキュリティの方法、PowerPoint演習	○	○	○	・いろいろな情報を利用して日常の生活に役立っていることを理解することができる。 ・情報通信ネットワークにより便利で使いやすくなる理解することができる。 ・情報システムは扱うデータに応じたデータモデルを使うことを理解することができる。 ・データはデータベースによってささげられていることを理解することができる。	
30	情報通信ネットワークとデータの活用	情報システム、PowerPoint演習	○	○	○		
31	情報通信ネットワークとデータの活用	データベース、PowerPoint演習	○	○	○		
32	コンピュータとプログラミング 情報通信ネットワークとデータの活用	ここまでの復習	○	○		上記目標に向けて学習に取り組んでいる	
33	プレゼンテーション準備	プレゼンテーションに向けてPowerPointによる資料作り	○	○	○	PowerPointの様々な機能を効果的に使い、資料を完成させる。	
34	プレゼンテーション発表			○	○	作成した資料を用いて、聞き手が興味をもつような発表ができる。	
35	年度末調査		○	○		上記目標に向けて学習に取り組んでいる	
評価方法	（知識・技能）ペーパーテスト（思考・判断・表現）ワークシート・レポート （主体的に学習に取り組む態度）振り返りシート・ワークシート ※各観点につきそれぞれを評価し、評価はこれを総括する。						
備考				合計時間数	2	単位×35週	70 時間

年 間 授 業 計 画 （令和7年度）

東京都立桐ヶ丘高校

教科	総合的な探究の時間	科目	ボランティア		区分	本校指定	単位数	後期2単位（通年1単位）		
担当										
教科書副教材	人間としての在り方生き方に関する教科「人間と社会」改訂版教科書									
学習目標	(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。									
	(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。									
	(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。									
週	学 習 単 元		学 習 内 容		評価の観点 知 思 態		評価の観点（評価規準）			
1	オリエンテーション		授業概要の説明。 ProjectX「よみがえれ日本海」からボランティアを考える		○	○	ボランティア活動に関するDVD鑑賞から、自分と社会のつながりを考えている。			
2	地域ボランティア入門		地域密着型のボランティア活動の様子や参加方法に関する講演会 を聞き、ボランティアへの興味・関心を高める		○	○	学校が存在する地域における情報・環境等を認識し、 自分が地域に貢献できることを考えている。			
3					○					
4	地域ボランティアⅠ		DVD「ベルナのしっぽ」から、 視覚障がいについて考える		○		視覚障がい者について学び疑似体験することで、視覚障がい者に対してどのような手助けや関わりが持てるのかを、主体的に考えることができる。			
5					○					
6			アイマスク&ガイドヘルプ体験・交流		○	○				
7			講演会			○				○
8	地域ボランティアⅡ		DVD「君の手がささやいている」から、 聴覚障がいについて考える		○		聴覚障がい者が日常でどのように苦労しているかを学び、聴覚障がい者に対してどのような手助けや関わりが持てるのかを、主体的に考えることができる。			
9					○					
10			小グループに分かれて手話の初歩を体験・交流		○	○				
11			講演会			○				○
12	国際協力ボランティアⅠ		JICA（青年海外協力隊）講演会		○	○	海外でのボランティア活動を知り、自己と世界がどのような関わりが持てるのかを考えている。			
13	人間と社会		人間関係を築くことや学ぶことの意義を考える。		○		これから何を大切に、どのように生きるかを考えたり、自分の生活にどのように生かすかを考えられている。			
14						○				
15	地域ボランティアⅢ		点字の基礎を学ぶ		○	○	視覚障がい者が使用する点字の歴史や成り立ちを知ろうとしている。また絵本を点訳することで、点字作成が人々の役に立っていることを認識できている。			
16					○	○				
17				○	○					
18			点字による交流&点字絵本作成			○				○
19						○				○
20	1年次ボランティア　まとめ		振り返りシートによる自己評価			○	○	1年間の学習活動を振り返ることで、自己と社会のつながりを意識し、今後の課題を考察している。		
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
評価方法	(知識・技能)ワークシート・体験活動内容（思考・判断・表現）ワークシート・体験活動内容 (主体的に学習に取り組む態度)ワークシート・体験活動内容・振り返りシート									
	※評価は、生徒にどのような資質・能力が身に付いたかを文章で記述する。									
備考					合計時間数	2	単位×20週		40 時間	

年 間 授 業 計 画 （令和7年度）

東京都立桐ヶ丘高校

教科	総合的な探究な時間	科目	総合探究	区分	2年次指定	単位数	1 単位
担当							
教科書副教材 なし							
学習目標	1 年次の内容をさらに深く探究し、3 年次の総合研究につながるように体験や活動の内容をより深く行っていく。特に地域との関りや、社会における自己実現の可能性など模索し、生きる力や自己の在り方について探究を深めていく。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観			評価の観点（評価規準）	
			知	思	態		
1	オリエンテーション	1年間の流れ、目標を共有し、どのような力を養う時間かを理解する。			○	1年間で、どのような力を身に付けるべきかを理解しようとしている。（ワークシートの取り組み）	
2	学校の周辺を知る 講義・まとめ	北区の歴史について知る。学校周辺を散策しながら、地形について学ぶ。	○			動画や散策に対し、能動的に関わろうとしているか。（動画の視聴や散策に意欲的である。）	
3	人権についてⅠ 講義	人権とは何かを人権問題の例を取り出し、考える。			○	人権とは何か、という大きなテーマにも臆せず、内容を理解しようとする態度。（取り組み）	
4	人権についてⅠ まとめ	前回の学習内容を踏まえ、人権問題について、自身の経験と結びつけ、理解を深める。			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
5	地域の学校・企業を学ぶ 講義	学校の周辺にある学校についてどのような特徴があるのかを学ぶ。	○			自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
6	地域の学校・企業を学ぶ まとめ	学校の周辺にある企業のいくつかを取り上げ、なぜ北区に設置したのか等を含めて自分の考えを持つ			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
7	特産品・伝統工芸を学ぶ 講義・調査	特産品とはどのようなもので、どのような決まりがあるのかを調べてみる。			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
8	特産品・伝統工芸を学ぶ まとめ	伝統工芸とは何かを調べてみる。また、伝統工芸として認められるにはどのようなことが必要かを考える。			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
9	福祉を知る	福祉と一言で表されるが、どのような事を担っているのかを調べ、福祉サービスにどのようなものが必要かを考える。	○			自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
10	伝統芸能を学ぶ 講義・調査	伝統芸能と呼ばれるものの1つを選び、調べる。また、調べた結果、分かったことを自分の言葉でまとめる。	○			自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
11	国際理解Ⅰ（日本との比較） 講義	国際理解とは、そもそもなんであるかを考えてみる。			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
12	国際理解Ⅰ（日本との比較） 調査・まとめ	日本と諸外国の様々なデータをもとに、国際理解とはどのようなことができることなのかを考える。			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
13	地域交流の日に向けた準備①	水質調査について、学ぶ。			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
14	地域交流の日に向けた準備②	河川のでき方や河川にて起こりうる事柄等を調べる。	○			自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
15	地域交流の日に向けた準備③	水をきれいに保つためには、どのようなことが必要で、何をすべきかを考える。			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
16	地域交流の日に向けた準備④	河川及び河川敷を掃除することで何が得られるか。また、掃除をすることで、何に貢献できるか。			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
17	地域交流の日の事後学習	体験したことをふり返り、日常ではどのようなことができるかを考える。			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
18	調査・研究基礎①	テーマ、論点を決めるにはどうすればよいかを考え、自分なりの答えを見つける。	○			自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
19	調査・研究基礎②	文献の活用の仕方を学ぶ。また、インターネットの有効活用の仕方を考える。	○			自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
20	調査・研究基礎③	調査したものを整理し、新たな論点等を見つける練習をする。			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
21	調査・研究基礎④	調査結果から結論を考えるうえで、様々な論理展開をや視点を理解し、活用してみる。			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
22	資料作成・発表・プレゼン基礎①	WordやExcelなどのソフトウェアの活用について考える	○			自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
23	資料作成・発表・プレゼン基礎②	パワーポイントでの資料の作成について学ぶ	○			自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
24	資料作成・発表・プレゼン基礎③	発表原稿や発表する際に心掛けるマナーについて学ぶ。			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
25	資料作成・発表・プレゼン基礎④	今まで学んだことを活かして、実践してみる。			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
26	人権Ⅱ 講義	修学旅行先周辺にある人権に関する課題について知る。	○			自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
27	人権Ⅱ 調査	調査をし、現状把握から考えられる課題解決方法を各自考える。			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
28	人権Ⅱ まとめ	調査結果をまとめ、全体で発表し、内容を共有する。			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
29	旅行先を調査しよう① オリエンテーション	旅行先をどのようなテーマで調査・研究するのかを皆で共有する。			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
30	旅行先を調査しよう② 調査・研究	各自テーマに沿って、調査・研究をする。	○	○		自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
31	旅行先を調査しよう③ 調査・研究	各自テーマに沿って、調査・研究をする。	○	○		自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
32	旅行先を調査しよう④ 調査・研究	各自テーマに沿って、調査・研究をする。	○	○		自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
33	旅行先を調査しよう⑤ 発表	調査・研究結果をもとに、発表資料を作成し、発表練習をする。			○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
34	旅行先を調査しよう⑥ 発表	発表を行い、ふり返りを行う。	○	○		自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。	
35	1 年間のふり返り	1年間のふり返りをし、次年度に活かせる部分を探す。			○	○	自分の言葉で発言しようとして試みている。ワークシートに取り組んでいる。
評価方法	（知識・技能）ペーパーテスト（思考・判断・表現）ワークシート・レポート （主体的に学習に取り組む態度）振り返りシート・ワークシート						
	※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考				合計時間数	1	単位×35週	35 時間

年 間 授 業 計 画 （令和7年度）

東京都立桐ヶ丘高校

教科	総合的な探究の時間	科目	総合研究	区分	必修修	単位数	2
担当							
教科書副教材	各自資料						
学習目標	①自ら課題を発見し、考え、課題を解決する能力を育成します。						
	②テーマを決定し、担当教員と話しあって調査・資料収集のもとに研究・作品制作を行います。						
週	学 習 単 元	学 習 内 容	評価の観点			評価の観点（評価規準）	
			知	思	態		
1	ガイダンス	ガイダンス、小研究のテーマ決め			○	年間の見通しを理解し、小研究のテーマを調べようと工夫している。	
2	調査・研究・作品製作	調査・研究、レポート1200字①	○			各テーマに合わせて調査研究に励み、研究の記録を記入している。	
3	調査・研究・作品製作	調査・研究、レポート1200字②		○		各テーマに合わせて調査研究に励み、研究の記録を記入している。	
4	調査・研究・作品製作	調査・研究、レポート1200字③			○	各テーマに合わせて調査研究に励み、研究の記録を記入している。	
5	調査・研究・作品製作	調査・研究、レポート1201字④	○			各テーマに合わせて調査研究に励み、研究の記録を記入している。	
6	調査・研究・作品製作	調査・研究、レポート1202字⑤		○		各テーマに合わせて調査研究に励み、研究の記録を記入している。	
7	調査・研究・作品製作	調査・研究、レポート1203字⑥			○	各テーマに合わせて調査研究に励み、研究の記録を記入している。	
8	調査・研究・作品製作	パワーポイント作成①	○			調査研究のデータをもとに、傾聴者に伝わりやすい発表用資料の製作に取り組んでいる。	
9	調査・研究・作品製作	パワーポイント作成②		○		調査研究のデータをもとに、傾聴者に伝わりやすい発表用資料の製作に取り組んでいる。	
10	調査・研究・作品製作	パワーポイント作成③			○	調査研究のデータをもとに、傾聴者に伝わりやすい発表用資料の製作に取り組んでいる。	
11	調査・研究・作品製作	パワーポイント作成④	○			調査研究のデータをもとに、傾聴者に伝わりやすい発表用資料の製作に取り組んでいる。	
12	調査・研究・作品製作	パワーポイント作成⑤		○		調査研究のデータをもとに、傾聴者に伝わりやすい発表用資料の製作に取り組んでいる。	
13	小研究発表	小研究 部内発表①			○	今までの調査研究を発表している。他人の発表を意欲的に聞き、理解しようとしている。	
14	小研究発表	小研究 部内発表②	○			今までの調査研究を発表している。他人の発表を意欲的に聞き、理解しようとしている。	
15	小研究発表	小研究 部内発表③ 提出ㄮ切日		○		今までの調査研究を発表している。他人の発表を意欲的に聞き、理解しようとしている。	
16	調査・研究・作品製作	本研究のテーマ決め、調査・研究①			○	各テーマに合わせて調査研究に励み、研究の記録を記入している。	
17	調査・研究・作品製作	調査・研究、論文6000字②	○			各テーマに合わせて調査研究に励み、研究の記録を記入している。	
18	調査・研究・作品製作	調査・研究、論文6000字③		○		各テーマに合わせて調査研究に励み、研究の記録を記入している。	
19	調査・研究・作品製作	調査・研究、論文6000字④			○	各テーマに合わせて調査研究に励み、研究の記録を記入している。	
20	調査・研究・作品製作	調査・研究、論文6000字⑤	○			各テーマに合わせて調査研究に励み、研究の記録を記入している。	
21	調査・研究・作品製作	調査・研究、論文6000字⑥		○		各テーマに合わせて調査研究に励み、研究の記録を記入している。	
22	調査・研究・作品製作	調査・研究、論文6001字⑦			○	各テーマに合わせて調査研究に励み、研究の記録を記入している。	
23	調査・研究・作品製作	調査・研究、論文6002字⑧	○			各テーマに合わせて調査研究に励み、研究の記録を記入している。	
24	調査・研究・作品製作	調査・研究、論文6003字⑨		○		各テーマに合わせて調査研究に励み、研究の記録を記入している。	
25	調査・研究・作品製作	パワーポイント作成① 論文ㄮ切			○	調査研究のデータをもとに、傾聴者に伝わりやすい発表用資料の製作に取り組んでいる。	
26	調査・研究・作品製作	パワーポイント作成②	○			調査研究のデータをもとに、傾聴者に伝わりやすい発表用資料の製作に取り組んでいる。	
27	調査・研究・作品製作	パワーポイント作成③		○		調査研究のデータをもとに、傾聴者に伝わりやすい発表用資料の製作に取り組んでいる。	
28	調査・研究・作品製作	パワーポイント作成④			○	調査研究のデータをもとに、傾聴者に伝わりやすい発表用資料の製作に取り組んでいる。	
29	調査・研究・作品製作	パワーポイント作成⑤	○			調査研究のデータをもとに、傾聴者に伝わりやすい発表用資料の製作に取り組んでいる。	
30	調査・研究・作品製作	パワーポイント作成⑥		○		調査研究のデータをもとに、傾聴者に伝わりやすい発表用資料の製作に取り組んでいる。	
31	調査・研究・作品製作	パワーポイント作成⑦			○	調査研究のデータをもとに、傾聴者に伝わりやすい発表用資料の製作に取り組んでいる。	
32	本研究発表	本研究 部内発表①	○			今までの調査研究を発表している。他人の発表を意欲的に聞き、理解しようとしている。	
33	本研究発表	本研究 部内発表② パワポㄮ切		○		今までの調査研究を発表している。他人の発表を意欲的に聞き、理解しようとしている。	
34	本研究発表	本研究 部内発表③			○	今までの調査研究を発表している。他人の発表を意欲的に聞き、理解しようとしている。	
35	本研究発表	本研究 部内発表④			○	今までの調査研究を発表している。他人の発表を意欲的に聞き、理解しようとしている。	
評価方法	①普段の取り組み ②研究内容 ③まとめたレポートの内容 ④作品の内容 ⑤自己評価 ⑥出席状況						
	※各観点につきそれぞれを評価し、評定はこれを総括する。						
備考				合計時間数	2	単位×3 5 週	70 時間